

佐賀大学生のための

海外留学・国際交流 ガイドブック 2020

CONTENTS

- 短期海外研修プログラム P2
- 交換留学 P10
- トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム P18
- キャンパスでの国際交流 P20
- 主な派遣先大学 & 詳細一覧 P21

SAGA
UNIV.
STUDY
ABROAD
GUIDE
2020



短期海外研修プログラム

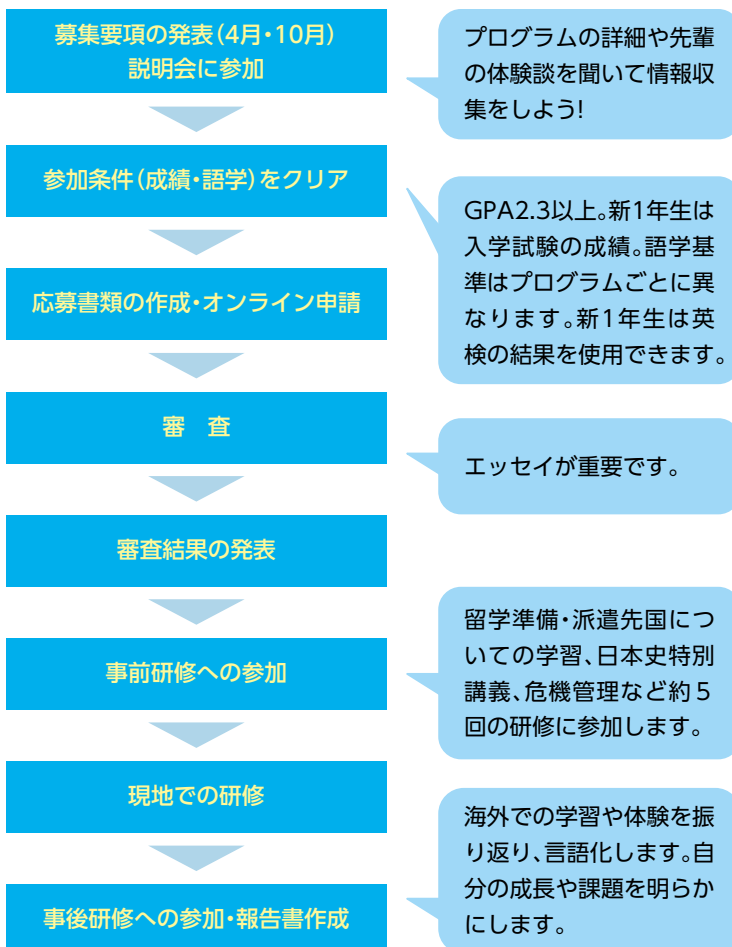
Saga University Study Abroad Program(SUSAP)

佐賀大学では異文化への関心を持ち、多文化社会で活躍できる人材を養成するため、海外協定校との連携により現地授業への参加、ボランティア活動、異文化交流などの様々な学習機会を提供しています。自分の関心や専門、将来のキャリアプランに応じてプログラムを選択することができます。

SUSAP 7つの特徴

- ①派遣先国・地域の社会・文化・言語などを学習、現地学生との豊富な交流機会
- ②期間は10日間～5週間で夏休みや春休みに実施
- ③全学の学生を対象としているため、様々な学部の学生との交流が可能
- ④政府または大学による経済的支援が手厚い
- ⑤卒業単位になる教養教育科目の2単位が付与される(一部付与されないものもあります)
- ⑥東アジア・東南アジア・北米・オセアニア・ヨーロッパなど様々な地域の研修プログラムがある
- ⑦長期留学(交換留学プログラム)へのステップアップとしても活用できる

SUSAP参加の流れ



SUSAP参加者のための奨学金(令和2年度)

- ①「スタートアップ—アジアで活躍できるリーダー養成プログラム」
SUSAPでアジア諸国に留学する学部1～2年生に対し6～7万円の奨学金を48名に支給
- ②「 Semester留学候補者のためのアカデミックスキルと異文化コンピテンシー向上プログラム」
5週間のSUSAPプログラムに参加する学部・大学院生に対し10～16万円を30名に支給
- ③SUSAP参加助成
上記①②の対象とならなかった参加者のうち学業および人物ともに優秀であると判断された人に対し佐賀大学が奨学金を支給

SUSAP体験談

東華大学で得られたもの

合力結香(経済学部経済法科・1年)

東華大学プログラムでは時間が過ぎるスピードの速さに驚きました。それだけこの一ヶ月が充実していたと言えます。間違いなく人生の中で最も濃密で時間を過ごし、貴重な体験をすることができました。

何よりも現地の学生が英語に堪能であったことが挙げられると思います。正直に言うと、現地学生とのコミュニケーションは不安でした。しかし彼らは遅くとも小学生のうちから英語を学び始めており、大学生ともなるとかなり話せました。これは私にとって予想外でした。現地学生と話すと、我々日本人の拙い英語を彼らが読み取るといような状況で、言いたいことをすぐに表現できないもどかしさを何度も経験しました。もどかしさや悔しさ、情けなさも、今となっては英語力向上に必要なステップであったと確信しています。英語で受講する授業や現地学生との会話を通して、リスニング力、スピーキング能力、リーディング能力、ライティング能力すべてが向上しました。それほどまでに英語を毎日使う日々でした。英語の授業を例に挙げると、佐賀大学は週に一回だけですが、東華大学は、話す、書く、聞くなど技能ごとに分かれていて英語に触れる機会が多かったです。また留学生が多く様々な国籍の留学生と知り合い、英語をたくさん話すことができました。台湾に行くまでは、英語を話すためには英語圏に行かなければならないと信じ込んでいましたが、それは間違いでした。

二つ目に、大学の授業が非常に活発でした。最初の週はひたすら学生の発言の多さ、居眠りやスマホを触るといったことの少なさに驚いていましたが、2週目からは現地の学生に負けまいと自分も発言をするように心がけました。英語で授業内容をまとめながら自分の意見を発言するというのは、今までになく緊張しましたが、本当にいい経験でした。東華大学で私が一番印象に残っている授業は、経済学部の専門の授業で、“International Business Management”という授業です。その授業では常に発言が求められるうえ、特定のテーマについてグループで30分間のプレゼンテーションをしなければなりません。私の留学は一ヶ月間のため、残念ながらプレゼンテーションは参加できませんでした

が、パワーポイントのスライドを一緒に作成し、また私の担当箇所の発表を事前に録音して当日流してくれました。準備のために何度かミーティングをしましたが、その時間はとても印象的でいまでも鮮明に思い出します。グループ学習室には、

数多くの学生が同じようにパソコンを前に真剣に語り合っていて、日本ではあまり見かけない光景でした。夜の8時や9時頃からそのミーティングを始めて、学習室が閉まる12時までであったという間に感じるほど、充実した時間でした。チームのメンバー4人は台湾人、日本人、モンゴル人、インドネシア人と出身は全員違いましたが、皆フレンドリーで、専門的な課題について議論したり、わからないところを互いに教えあったりしたことは非常に良い経験になりました。何より現地の学生や先生が1ヶ月でもいなくなる私に対してでも対等に扱ってくれたことが本当に嬉しかったです。帰国後、私の発表についてのフィードバックを同じ授業の学生がSNSを通じて教えてくれたのですが、スライドの内容や録画によるプレゼンテーション参加の姿勢などを評価していただき自信になりました。

このプログラムは、現地の授業を現地の学生と同じように受けられることが最大の魅力です。刺激的な授業を一ヶ月間も受けることができたのは素晴らしい経験でした。また一ヶ月では物足りなさを感じました。これだけのものが得られる台湾にもっと長く留学することができたら、どれだけ自分は成長できるのだろうと感じました。この一ヶ月で得られたものは計り知れないですし、東華大学で過ごしたことがこれからの私の人生において大いに役立つであろうと確信しています。このプログラムに参加できて本当に良かったと思います。この留学で大いに自分を成長させることができました。本当にありがとうございました。



"International Business Management"で知り合った友達と

中国での出会い

田中謙慎(医学部医学科・2年)

私にとってこれが初めての留学であり、物凄く刺激的な2週間でした。中国をはじめとし、ドイツ、ブルガリア、ルワンダ、パプアニューギニアなど多くの国々の学生と関わりました。

今回の留学での一番の財産は、人との出会いであると感じています。特に同じプログラムに参加するドイツの大学生との交流は素晴らしいです。不真面目な人、真面目な人、内気な人、積極的な人など様々な人がいました。考えてみれば当然の事ですが、今までは「ドイツ人は〇〇」という風に国で一括りにして考えていたために当たり前のことを見逃していたように思われます。また感性や価値観などは全く異なるものでした。留学開始当初、私たちは彼らと積極的に関わることを避けていました。それは慣れない環境に疲れていたことや英語で会話することの難しさのために逃げていたのだと自覚しています。せっかく遊びに誘われても断ってばかりでした。しかしある時、彼らと共に夕飯を郊外に食べに行きました。そこで初めてたくさんの会話をしたように思います。その日は忘れられない大切な日になりました。あるドイツ人の友人の言葉が胸にささりました。「ドイツでは友情を大切にします。知り合いと友達とは全く別である。共に多くの時間を過ごし、会話をしてお互いをよく知ることでしか友達にはなれない。日本人はそうではないのか?今までどうして誘いを断られていたのか正直よくわからなかった。もしかしたら、僕たちの振る舞いが君たちをイラつかせたりしていたのかと考えていた。」と言われた時、彼らが日本人ではないことを痛感しました。私たちは勿論友達になりたいとは思っていましたが、曖昧な態度をとっていたことに気づいたのです。

日本では言葉にしなくても相手の気持ちを汲み取るような文化があるため、それでも問題ないことがあります。私は大変申し訳ない気持ちになるとともに、日本人と付き合うときと同じではいけないのだと強く感じました。もっと関わりたいとずっと思っていたため、その日から言動を変えました。自ら誘うようにもなり、誘われた時ははっきりと答えるようになりました。一緒にお互

いの国のカードゲームを紹介しあったり、街を散策したりしました。うまく英語で伝えることが出来なくてもどかしい瞬間が何回もあり、カードゲームのルールを説明する際などは特に大変でしたが、それでもその度に必死に私たちの英語を理解してくれようとして丁寧に聞いてくれました。ある時、「私の下手な英語に付き合ってくれてありがとう」と伝えた際、「自分自身を侮辱することはやめてくれ。君の英語は上達しているし、君は上手くなるかと頑張っているから十分だ。だからそんなことは言わないでくれ。」と怒られました。



ドイツ学生とゲームを楽しんだ時

日本では自分を下げることで相手をたてる文化があるせいか、自分を下げることに抵抗がない人が多いと思います。この感覚が通じるのも日本人だけであると感じました。しかし私は怒られたとき全く悪い気はしませんでした。日本人は周りを配慮しすぎて素直に自分の意見を言えない人が多いと思います。それが悪いかどうかは別として、彼らと関わる中で私は前者の方がいいと感じました。ドイツからの学生は、全員がドイツ人でなく様々な国の人がいました。そのため一人一人、外見も考え方も宗教も異なりましたが、互いを尊重しあう姿は素敵でした。日本ではあまり見ることが出来ない光景でした。

今回2週間中国で過ごしただけでも、中国が今まさに発展途上であり、場所によっては日本をはるかに上回るほど発展していることを感じるところもありました。人の数は大変多く、その市場の大きさは途轍もないと思われます。そうした点で、中国語を勉強する価値は十分にあると思います。一番の成果は、中国でたくさんの人と出会い、関わったことであると確信しています。

SUSAP体験談

初めての北欧留学と新たな目標

山崎祐佳(教育学部幼少連携教育コース・2年)

今回の短期留学は私にとって3回目のSUSAP短期留学への参加、高校時代を含めると4回目の留学となりました。この留学に臨むにあたり、一つの大きな目標を立てて渡航しました。それはフィンランドへの長期留学へとつながるような10日間にする、ということです。私は大学1年生の時からSUSAPに繰り返し参加することで、短期ではなく長期で留学をしたいと考えるようになりました。そして私の専攻である教育学を学ぶには、ここ数十年PISA総合1位を数度獲得し各国からその教育力が注目されているフィンランドが一番だと考え、フィンランドをその留学先に決めました。今回の留学ではフィンランドへ訪れるため、現地の町の雰囲気や大学の様子をしっかりと見て、自分が留学した際にはどのような生活を送ることができるのか、学習環境はどのようなものなのかを知り、具体的に自分が留学した際のイメージを膨らませていきたいと考えました。

リトアニアでは期間を通してホームステイをさせていただき、現地学生のお宅に1週間お世話になりました。リトアニアの生活や大学での授業の内容など、たくさん話をすることができました。韓国語を専攻している大学生2人のお宅でのホームステイでしたが、私からもアジアについて発信することもでき、会話もスムーズにできました。また、現地の博物館に訪れる機会に恵まれ、バルト三国の歴史や杉原千敏の功績をたくさん写真や遺物を目に、学ぶことができました。社会科の教員を目指し、地理や歴史を勉強しているので、実際に博物館で目にしたものを体験談として児童・生徒に語れるようにと、できるだけたくさん情報をメモに残しました。

アメリカと日本

西山智貴(理工学部電気電子工学科・4年)

私はパシフィック大学プログラムに参加して、2週間という短い時間の中で多くのことを感じ、経験しましたが、中でも特に考えさせられたのが、アメリカの小学校教育についてです。日本と似たような活動もありますが、これだけは日本ではやらないことであろうというものも1つありました。それは、ある一つのテーマを決め、その内容についてリサーチし、自分の考えをまとめ、PCでプレゼンを作成し発表することです。これは日本では初等教育の段階ではほとんど経験する機会がなく、日本人の苦手とする分野ではないかと思えます。現に、私自身も大学に入学するまでそのような機会はなく、日本人学生は自分の意見を発表するという能力に関しては乏しいように感じます。これらの能力は社会に出るにあたり、自分という人間を他者に対して伝える大事な能力であると思えます。

実際に、就職活動などをやる際に求められる能力として、専門的な知識のほかに、コミュニケーション能力やプレゼン能力が多くを占めるでしょう。それに関わらず、そのような教育が乏しいというのは、考えさせられるものがあります。日本人が自分の考えを率直に相手に伝えずに遠回しに伝えるというのも、これらの理由によるもの大きいと思います。アメリカで様々な国の留学生や現地の人と触れ合いましたが、彼らは自分の考えを素直にぶつけてきます。確かに、場面によっては直接的な言い回しは避け、オブラートに包む言い方のほうがトラブルを起こしにくいでしょう。しかし、自身の考えを直接伝えなくてはならない時まで、その習性が出てしまうと問題であると思えます。如何に座学や研究する能力が優れている人物でも、コミュニケーション能力やプレゼン能力が乏しい人は、社会で求められる場面は少ないと思います。やはり、小さい時からそのような機会が多く得られる方が

フィンランドでの活動自体は1日のみでしたが、非常に充実した時間でした。ヘルシンキの大学を訪れ、授業の様子を見学しました。一番驚いたのは学習環境の十分な確保です。キャンパスの至る所に学習スペースが確保さ



ヘルシンキ大学での授業参加

れており、一人で静かな環境で学習したいとき、グループで話しながら授業の準備をしたいときなど、学生それぞれの状況にあった学習環境がいつでも提供できるように、何パターンもの異なった配置、空間のスペースが設けられていました。教育現場に携わること目標としている者としては、学習環境の重要性を強く感じていますし、どのようにすれば児童・生徒が学習に集中できる環境が整うのかということに興味があります。今回のキャンパス見学はそういった意味でも非常に勉強になりました。そしてフィンランドに交換留学している佐賀大学の先輩方にもお話を聞くことができました。現地での生活や授業の内容など、自分が留学した際にためになる情報をたくさんいただきました。

短い期間ではありましたが、たくさんの方々にお世話になり、たくさん学びました。何よりも長期留学への意欲が更に高まったこと、そして教育への関心が高まったこと、その他にもこれからの大学生活を変えてくれる体験がたくさんありました。残り半分の大学生生活と目標としている長期留学に向けて努力していきたいと思えます。

大人になったときに困らずに済むと思えます。パシフィック大学でいくつかの授業を受講しましたが、自分の考えをまとめて相手に伝える、ディスカッションやディベートというものが多く、日本では使ったことのないような頭や、専門性が高まっていく教育の中で考えることがなくなっていったことを、改めて考えさせられました。私にとってはこれが良い機会となり、自分に何が足りていないのかを認識することができました。



現地の人々との触れ合い

また英語力の向上に関しての意識が高まり、自主的に学習しようとも思いました。英語でディスカッションやディベートをすることは最高の機会であり、もっと長い期間で留学というものを経験したいと感じています。現在の環境では、専門性を高めることはできても他の知識や能力を向上させるには物足りないように感じます。こういった環境を自分の手で変える力も大事だと思います。今回の海外研修も一時は諦めなくてはならない状況でしたが、他者の気持ちを変えて自分の意見をはっきりと伝えることができたからこそ、今回のプログラムに参加できました。それを考えると、今回のプログラムでは英語力の向上よりも、一人の人間として生きていく能力が最も向上したと思います。

最後に、私がこのプログラムに参加し感じたことは、一人一人が人間らしく自分の意志をもって生きていくことが何よりも大事なことだと、様々な人種の人と触れ合う中で改めて感じました。

オーストラリアで感じたこと

山口実穂(芸術地域デザイン学部地域デザインコース・2年)

その国ならではの国民性、性格があります。私が今回留学したオーストラリアはオーストラリア単独の文化ではなく、様々な国からたくさんの人たちが移住して出来た多民族国家です。だから人々の性格も地域性ももちろん様々です。少しでも気に障ったら怒られるのではないかと、日本人はおかしいと思われるのではないかと、と不安なことも少なくありませんでした。しかしそんな不安だと思っていたことが起きることは全く無く、色んな国の人々が集うオーストラリアで「人の温かさ」を感じるたくさんの出会いを経験しました。

まず、私のパディである。彼は私たちが留学したラトロープ大学で日本語を勉強していました。私が英語で話す必要が無いほど日本語が上手くて、日本がすごく好きな人でした。授業で出た宿題を手伝ってもらったり、最終プレゼンの原稿を1つひとつすごく丁寧に訂正してくれました。オーストラリアにいる間ずっと気にかけて連絡してくれて、初めてのオーストラリアである私にとってはとても優しく心強い存在です。

次に、私のホストファミリーです。ホストファミリーと言っても私はホストマザー1人の家にホームステイをしました。「恥ずかしいがらなで気軽に何でも言って！ここはあなたの家で、私はあなたの第2のお母さんだから」と来たばかりで緊張している私に笑顔で声をかけてくれたことを今でもはっきりと覚えています。毎日夕ご飯は違う料理を用意してくれて、イタリアン、フレンチ、韓国、中国、また日本の天ぷらもネットで作り方を調べて私のために作ってくれました。毎日たくさん作ってくれて本当に私も美味しいものばかりでした。佐賀大学生全員を招いてパーティもしてくれました。そこではホストマザーが「家に招いたからにはお店でテイクアウトできるピザよりも家庭の料理を食べて欲しい」と前日から私が知らない間に1人で13人全員分の手作り料理を快く用意してくれました。その後も「私たちの家に来てくれた佐賀大学生はみんな元気にしてる？その子たちのホストファミリーは大丈夫？」などと気にかけてくれました。また、毎日「あなたの家族はお父さんもお母さんも元気にしてる？」と声をかけてくれました。自分のことではなく、私や私の周りの人たちをとて

も気遣ってくれる本当に温かいホストマザーでした。

最後にクラスメイトです。サウジアラビア人、オマーン人が比較的多く、なかなか私はクラスに馴染めずいました。彼らは先生の話の途中であっても先生に質問し、自分の意見を積極的に述べていました。日本の大学で英語を教えていた経験のある先生によると、日本人は文法やライティングは得意だけど話すことは得意じゃない、サウジアラビア人やオマーン人は話すのは得意だけど文法やライティングは得意じゃないと言っていました。最初はそんなクラスメイトと一緒に授業を受けていて、仲良くなれるか不安でした。しかしグループワークでも私の拙い英語でも一生懸命うなずいて聞いてくれて、なかなか上手く伝えられないときは補助してくれました。またプレゼンの時は私の本番前に「深呼吸して！大丈夫だから！」と励ましてくれて、終わってからも「完璧なプレゼンだった！」と一人ひとりが褒めてくれました。最終的にはこのクラスメイトで本当によかったと思える明るく優しいメンバーでした。

また、現地人の方に道を聞いた時は誰でも優しく丁寧に答えてくれました。目的地を伝えるとそこまでの行き方を何度も丁寧に教えてくれて、近くまで一緒に連れてもらったこともありました。

私は佐賀大学で留学生チューターや日本語ボランティアをしてきた経験はありましたが、留学生に対してオーストラリアで出会ったパディ、ホストファミリー、クラスメイトのように優しく温かく接することができていたかと振り返ってみると、そうではないような気がします。留学する側はこんなにも不安だということが分かりました。佐賀大学に海外から留学する留学生、また佐賀大学に限らず海外から留学や働きに日本へ来る外国人が不安を持って生活している気持ちがあるなら理解できます。



授業最終日のクラスでの集合写真

大邱での生活

倉富優花(経済学部経済学科・2年)

大邱大校プログラムでは平日に9時から12時50分まで、50分授業が4コマあり、韓国人の先生のもと充実した勉強ができました。授業では全て韓国語なのでlisteningの力が日に日につくことが実感できます。単語が分からない時は先生がテレビにパソコンをつないで写真を使って説明してくれました。何より大邱大校プログラムは事前に行われたレベルチェックによってクラス編成をされているので、自分の語学力にあった授業を受けることができるのが最大の魅力だと思います。そのため、自分のペースで無理なく、楽しく学習することができました。また、授業の初めにはわかりやすい韓国語で質問に答える時間があり、ただ知識だけを教えてもらうのではなく、自分の考えをゆっくりではありませぬが伝えることができました。

授業では、家族や礼儀、予約、交通など実際に韓国で生活するうえで役に立つ内容でした。早く街へ出て、習ったフレーズを実際に使ってみたくて思いましたし、街で習った単語を目にした時には、韓国語を理解しているという達成感がありとても嬉しかったです。語学を勉強するうえで、たくさん知識を蓄えることももちろん大切ですが、そのたくさん知識を街中に出て使うことが、早く上達する道ではないかと思えます。現地の人とたくさん会話、交流をすることで文化の違いや価値観など新しく気づくこともありますし、話せたという自信、また、自分にはまだまだ語学力が足りないという課題を身をもって感じるすることができます。

現地の学生と話をしていた気づいたことですが、韓国の方たちは他の人についてあまり干渉しないような気がします。ですが仲良くなると、他人であっても目上の人には「お兄さん、お姉さん」と呼び、また連絡を頻繁にしま

す。日本ではいくら親しくても「親しき中にも礼儀あり」とあるように年が違うと敬語で話しますし、聞きにくい質問であれば日本だとデリカシーがないと言われるますが、韓国では相手を知りたなら聞くのは当然のことだと言います。以前、佐賀大学で大邱大校の学生と交流する機会があり、日本人の友達がいる方もおっしゃっていましたが、韓国の方は日本より強い言い方で、言葉もストレートであると感じました。韓国の方々が、人の目を気にせず、相手のことを思っているからこそだと私は思います。

留学中、街中で日本製品不買運動の垂れ幕や演説を見かけました。高齢者の方へのどの国から来たのか尋ねられ、嫌な顔をされ、避けられたりすることもありました。今年は日本と韓国の関係が戦後最悪と言われましたが、現地の人々の温かさを感じました。今まではメディアなどの情報だけに目を向けていましたが、直接自分の目で確かめ、視野を広げることの大切さを学びました。



修了式にて

2019年度に実施したプログラム

| 時期 | | 難易度 | プログラム名 | 実施期間 | 参加者数 | 対象となる学生・応募条件 | 研修先 |
|-------------|-------------|---------|-----------------------|--------------|------|---|------------------|
| 夏 休 み | SUMMER 2019 | ↑ 低い | 大邱大学校プログラム | 8月 2週間 | 10人 | TOEIC IP 450以上 1年生は英検準2級以上 | 韓国大邱市 |
| | | | ハノイ国家大学外国語大学 | 9月 11日間 | 7人 | TOEIC IP 450以上 1年生は英検2級以上 | ベトナム ハノイ市 |
| | | | 浙江科技学院プログラム | 8月 2週間 | 10人 | TOEIC IP 500以上 1年生は英検2級以上 | 中国 杭州市 |
| | | 高い ↓ | マラン大学プログラム | 8月 11日間 | 7人 | TOEIC IP 450以上 1年生は英検準2級以上 | インドネシア マラン市 |
| | | | ラトローブ大学プログラム | 8~9月 5週間 | 13人 | TOEIC IP 550以上 1年生は英検2級以上 | オーストラリア メルボルン |
| 春 休 み | SPRING 2020 | ↑ 低い | パシフィック大学プログラム | 2月~3月 3週間 | 12人 | TOEIC IP 430以上 | 米国 オレゴン州 |
| | | | リトアニア・フィンランド プログラム | 3月 2週間 | 13人 | TOEIC IP 580以上 | リトアニア フィンランド |
| | | 高い ↓ | 東華大学プログラム | 2月~3月 4週間 | 14人 | TOEIC IP 430以上 ただし英語で専門科目を 履修する場合は580以上 | 台湾 花蓮市 |

| プログラム内容 | 参加費 プログラム費・宿泊費・航空券・ 海外旅行保険・ビザ代等を含む | 奨学金 語学基準・成績を 満たしたものの全員に支給 | 参加者負担 | 佐賀大学の 単位 |
|--|--|---------------------------------|----------|-------------|
| 韓国語学習の経験が無い人から上級者まで参加できるプログラム。プレースメントテストの結果、6つにレベル分けされたクラスに入り、週32時間の韓国語授業を受講します。大邱近郊の視察、韓紙工芸、韓国の歌、韓国映画等の文化体験の機会が豊富です。大邱大学校の海外協定校の学生と一緒にプログラムに参加しますが、日本からの学生が多数を占めます。海外生活や言語に不安がある人も比較的容易に参加することができます。 | 約11万円 | 7万円 (3人) 5万円 (7人) | 約4~6万円 | 2単位 |
| ハノイ国家大学が佐賀大学の学生を対象に提供する短期プログラムです。ベトナムの言語や文化、歴史などを学習します。現地では午前中に2時間半のベトナム語授業、午後はパディとの交流やハノイ市内外の主要な場所、例えば歴史地区や民族学博物館、文廟、大統領府などを巡ります。最終日にはプレゼンテーションを行います。現地学生や教職員との様々な場面での密な交流を通して、ベトナムの人々の暮らしや価値観・世界観などを理解します。日本と政治的、経済的に強力な関係にあるベトナムの著しい発展を肌で感じることができます。 | 約17万円 | 7万円 (5人) 5万円 (2人) | 約10~12万円 | なし |
| 浙江科技学院では中国語、歴史・文化などを主に学びます。参加しているのは佐賀大生に加え、ドイツからの留学生です。授業や交流は英語で行います。プログラムでは中国文化に関する講義、初級中国語授業、杭州市内の視察、文化体験などの機会が提供されます。英語の流暢な中国人パディや海外の留学生と共にプログラムに参加することで、中国だけでなく様々な国々の社会文化についても知識を深めます。五感をフルに使って中国の文化や社会を理解しましょう。 | 約10万円 | 6万円 (3人) 5万円 (4人) | 約5~6万円 | 2単位 |
| インドネシア人学生や世界各地から集結した学生と共に講義、文化や歴史を学ぶフィールドトリップ、ディスカッションに参加します。インドネシアの文化や社会を学びながら、世界の様々な問題や可能性について意見を共有し理解を深めます。インドネシア語や伝統文化の体験活動にも参加します。全てのコミュニケーションは英語で行われます。様々な価値観や経験を持つ人々との出会いや人間関係の構築を通して、スキルの獲得のみならず、異文化環境においても他者と協働できるコンピテンシーを養います。 | 約17万円 | 7万円 (5人) プログラム費免除 (1人) | 約10~12万円 | 2単位 |
| ラトロープ大学の緑豊かなキャンパスには多くの野生動物が生息し、人間と動物が共存する恵まれた環境があります。本プログラムでは、プレースメントテストの結果によりGeneral EnglishまたはAcademic Englishのいずれかに配置されます。高度な英語能力を身につけることを目指して様々な国籍の学生と週20時間の授業を受講します。日本文化に関心のある学生パディが1名ずつ付き、放課後や週末を利用して交流します。ホームステイ家族とも積極的に交流し、様々な経験を通してオーストラリアの多民族社会について理解します。 | 約48万円 | 10万円 (8人) | 約38万円 | 2単位 |
| 米国オレゴン州の協定校、パシフィック大学はポートランドから車で約40分のForest Groveという街にあります。その名の通り、自然溢れる環境にあり、のんびりとした雰囲気の中で集中して勉学に励むことができます。午前はアカデミックイングリッシュ (リサーチ、エッセイライティング、ノートテイキング、ディスカッション) の授業を履修します。2週間で最大限のスキルアップが図れるよう配慮されています。プログラム期間中、地域住民と一緒に活動をする機会が3回あり、アメリカ社会についての理解を深めます。現地学生によるパディとの交流の機会も活用し、多くの経験と知識を獲得できるように積極的な姿勢で参加しましょう。 | 約32万円 | 8万円 (12人) | 約24万円 | 2単位 |
| 本プログラムでは、まずリトアニアで日本大使館にて日本とバルト三国との関係に関する学習、杉原千畝記念館の見学、ラボビジット、政治学、経営学、歴史学の授業聴講、日本語授業への参加、現地の日本人交換留学生との意見交換など、様々な活動に参加します。リトアニアでは一般家庭でホームステイをします。フィンランドでは、ヘルシンキ大学にて教育学の専門家によるフィンランドの教育制度に関する講義の受講、ヘルシンキ大学の施設見学、授業聴講と現地学生との意見交換大学を行います。人々との多様な交流を通して、双方の国についての知識を獲得しながら、佐賀大学での自らの学びや将来のキャリア、地域社会や日本、世界の問題について考えます。 | 約17万円 | 7万円 (12人) | 約10万円 | 2単位 |
| 花蓮は自然が豊かで原住民文化に触れる機会があります。東華大学のキャンパスは広大で学生寮も大学の中にあり、ゆったりとした学生生活を体験できます。東華大学では、正規の交換留学生と同様に現地の授業を履修します。現地の学生や留学生が受講する英語による専門科目、英語能力や中国語能力の向上を目指す授業など自分の関心や専門分野に従って選択することができます。修士課程の授業も多数英語で開講されています。1ヶ月間での参加ですが、現地学生と同様にプレゼンテーションやディスカッションなどに参加することができます。さらに現地学生のパディがつき、一緒にサークル活動に参加したり、街に出かけたりなど、授業の後や週末も充実した時間が過ごせます。 | 約9万円 | 7万円 (13人) | 約2万円 | 2単位 |

学部・研究科等のプログラム

2019年度に実施したプログラム

| 実施学部・研究科 | プログラム名 | 派遣先 | 開催時期 | 参加対象 | 派遣人数 | 奨学金 | 研修内容 |
|-------------------------------|--|-------------------------|--------|--|------|----------------------------------|---|
| 理工学部 工学系研究科 | 環アジア国際セミナー グローバル社会における文化多様性と 歴史的環境の保全活用にかかわる 建築・都市デザインワークショップ | タイ オーストリア | 12月・3月 | 理工学部4年 工学系研究科 修士1・2年 | 15 | 7万円 (JASSO) または 5万円 (佐賀大学) | ・現地大学での国際教育ワークショップ ・都市および建築的課題を持つ対象地を調査 分析し、問題解決に関する提案を行う |
| 医学部 | ハワイ大学臨床推論ワークショップ | アメリカ | 8月・3月 | 医学部・医学科 3・4年 | 6 | 8万円 (JASSO) または 5万円 (佐賀大学) | ・問題基礎型学習、臨床推論訓練、模擬患 者への診察 ・英語でのコミュニケーション、医療面接 を習熟する |
| 全学教育機構 | Cultural Immersion Program at Slippery Rock University in America | アメリカ | 9月 | 全学部・全学科 | 13 | 8万円 (JASSO) または 5万円 (佐賀大学) | ・現地協定校にて授業聴講 ・ホームステイで米国の生活、文化への理 解を高める ・NYでのフィールドワーク |
| 経済学部 | 国際交流実習 「グローバル化における中小企業の役 割～日本とタイの経験を中心にして」 | タイ | 9月 | 経済学部 2年次以上 | 14 | 7万円 (JASSO) または 5万円 (佐賀大学) | ・現地大学生との交流、ディスカッション ・タイに関する講義 ・フィールド調査 ・調査研究報告のプレゼンテーション |
| 経済学部 | 中国経済実習 | 中国 | 9月 | 経済学部学部生 | 10 | 5万円 (佐賀大学) | ・現地企業を訪問し、中国経済への理解を 深める ・現地学生との交流 |
| 理工学部 | アジアハウジング ワークショップ | マレーシア | 8月 | 理工学部 都市工学科3年生 | 4 | 5万円 (佐賀大学) | ・住宅スケールのグループ設計を学ぶ ・英語による議論やプレゼンテーション |
| 全学教育機構 | Cultural Immersion Program at Slippery Rock University in America | アメリカ | 3月 | 全学部・全学科 | 9 | 8万円 (JASSO) または 5万円 (佐賀大学) | ・現地協定校にて授業聴講 ・ホームステイで米国の生活、文化への理 解を高める |
| 理工学研究科 工学系研究科 先進健康科学研究科 | 高電圧・電力機器に関する 国際パートナーシッププログラム | 中国 | 9月 | 電気電子工学専攻 先端融合工学専攻 理工学専攻 生体医学工学コース | 9 | 6万円 (JASSO) | ・専門分野(高電圧・電力機器)についての 講義 ・学生交流プログラム ・工場や文化施設訪問 ・研究発表の機会 |
| 芸術地域デザイン学部 | ドイツとオランダにおける芸術教育 プログラム-芸術表現、デザインと 展示空間を探索するフィールドワーク- | ドイツ オランダ | 10月 | 芸術地域デザイン 学部 | 6 | 8万円 (JASSO) | ・ハレ芸術デザイン大学・アイントフォーン 芸術アカデミー施設・専攻教室見学 ・現地学生との交流 ・ハレ芸術デザイン大学周辺産業知視察 ・ダッチデザインウィーク視察 |
| 農学部 | アジアフィールドワーク | ミャンマー バトナム インドネシア | 8月・9月 | 生物環境科学科 | 9 | 7万円 (JASSO) | ・低湿地の農村や産業施設の見学 ・学生交流 ・現地調査 |
| 医学部 | 台湾輔仁カトリック大学及び関連総合 病院における海外臨床実習・臨地実習 | 台湾 | 5月・8月 | 医学科6年 看護学科3年 | 6 | 6万円 (JASSO) | ・現地病院での臨床実習・臨地研修 ・学生交流 |

今年度の実施については、所属学部・全学教育機構に問い合わせてください。

ハワイ大学臨床推論ワークショップ(医学部)



森 健史郎(医学部医学科・4年)

2019年8月19日から23日までの5日間、ハワイ大学医学部にて行われたワークショップに参加しました。私の印象に残った点3つについて報告します。1つ目は、4日目に行ったStandardized Patient Examです。患者の主訴と基本的な身体情報を元に問診と身体診察を進めて、診断と処方、カルテの記入までの一連の流れを英語で行う必要があります。この一連の流れを、学生の時に日本で身につけることは簡単ではないと思います。日本では、そのように踏み込んだ内容は問われないからです。この点において、米国の医学部教育の仕組みはその後のレジデンシーやフェローシップ、専門行取得を見据えた一貫性のあるものだと思います。私にとっても、模擬患者の方とはいえ、慣れない

英語でのコミュニケーションは難しく感じました。幸いにも、模擬患者の方がアシストしてくださり、なんとか終えることができましたが、医療英単語の語彙、必要フレーズや発音など改善すべき点は多く見つかりました。

2つ目は、アメリカの医療制度についてです。普段、佐賀で生活していると、路上生活者を見かける機会はあまり多くありませんが、日本の大都市や米国の他の都市と同様に、ハワイでもそのような人々を目の当たりにする機会が多々ありました。メディケア・フォー・オール法案が提出されたものの、米国では今だに国民皆保険制度が導入されておらず、新薬開発などに多額の資本が流入する一方で、そこで培われた技術が国民に等しく分配される事はないという厳しい現実が、彼らの生活をより困難にしているのでしょう。日本と米国でそれぞれの医療制度に欠点と利点があり、限られた資源の中で出来る限り多くの人を救う為の医療経済の視点も重要だと感じました。

3つ目は、ハワイと日本の関係についてです。私は今回この研修に参加するにあたって、ハワイに多くの日系アメリカ人が住んでいることに漠然とした疑問を抱いていました。太平洋戦争の契機となった真珠湾攻撃はまさに、今回私たちが訪れたオアフ島での出来事であり、これにより当時米国内にて排日運動が高まっていたにもかかわらず、ハワイへ移住した日本人はどうしてそこに住み続けることができたのか、という疑問です。滞在中に、ハワイ大学医学部の学生に真珠湾のPearl Harbor museumに連れて行ってもらったことで、わずかですが自分なりに調べるきっかけになりました。ハワイの人口の約14%は日系アメリカ人であり、多くの日本人観光客がハワイを訪れています。現在の華やかな、観光都市としてのハワイが築かれるまでに、日系移民の多くの困難と、150年にわたる努力があったのだと気づかされました。



学部・協定校プログラム

6つの特徴

- ①佐賀大生が1～2名で参加する。
- ②期間は10日間～2週間程度で夏休みや春休みに行われる。プログラムによっては佐賀大学の学期中に行われるものもあるため注意が必要。
- ③内容は派遣先国の社会・文化を学ぶ入門的なものから、専門分野の授業を英語で学ぶ上級者用のものなど多彩。
- ④積極性や主体性など、自分の力が試される場面が多い。
- ⑤佐賀大学の単位付与はない。
- ⑥佐賀大学から経済的な支援を受けられるプログラムもある。

2019年度に佐賀大生が参加した協定校プログラム

| 協定大学 | 国・地域 | プログラム名 | 期間 | 対象 | 内容 | 派遣人数 | 授業料免除 | 学生個人負担 | 佐賀大学奨学金 |
|-------------|--------|---|-------------|---------|---------------|------|-------|-----------------------|---------|
| ユバスキュラ大学 | フィンランド | International Summer School in Human Science 2019 | 5月20日～6月14日 | 学部・大学院生 | 英語での専門科目履修 | 1名 | 有 | 約20万円（渡航費、海外旅行保険） | 8万円 |
| ユバスキュラ大学 | フィンランド | Jyvaskyla Summer School | 8月5日～16日 | 理系大学院生 | 英語での専門科目履修 | 2名 | 有 | 約20万円（渡航費、海外旅行保険） | 8万円 |
| ヴィタウスマグヌス大学 | リトアニア | Baltic Summer University 2019 | 7月13日～11日 | 学部・大学院生 | 英語での専門科目履修 | 2名 | 無 | 約24万円（渡航費、参加費、海外旅行保険） | 8万円 |
| 釜慶大学校 | 韓国 | PKNU-International Summer School | 8月5日～17日 | 学部・大学院生 | 韓国語、韓国文化体験、視察 | 1名 | 有 | 約3万円（渡航費、海外旅行保険） | 無し |
| 培材大学校 | 韓国 | 2019韓国語・韓国文化体験プログラム | 8月12日～23日 | 学部・大学院生 | 韓国語、韓国文化体験、視察 | 3名 | 無 | 約10万円（渡航費、参加費、海外旅行保険） | 3万円 |
| 華東理工大学 | 中国 | 2019 Summer Chinese Language & Culture Program, ECUST | 7月14日～8月9日 | 学部・大学院生 | 中国語、中国文化体験、視察 | 3名 | 有 | 約5万円（渡航費、参加費、海外旅行保険） | 無し |

今年度の協定校プログラムはHP、ライブキャンパス等で情報提供されます。

Baltic Summer Universityに参加して



矢埜紅音（農学部生命機能科学科・4年）

私はリトアニアのヴィダウスマグヌス大学が主催するBaltic Summer Universityに参加しました。私が参加したコースはDNAの抽出から精製、データ解析を行うもので、大学院進学後に研究留学を考えている私にとって貴重な経験になりました。リトアニアはもちろん、ヨーロッパに行くことも初めてだったので、文化や雰囲気を知ることができました。

Methods in Molecular Geneticsコースには、ポーランド、オーストリア、カザフスタン、ギリシャ、中国、そして日本から計10名が参加し、年齢、経験値、英語力も様々でした。特にカザフスタンの学生は英語が全く話せず、驚きました。教えてくれたラボの先生や学生も英語が得意なわけではなく、比較的ゆっくり話してくれたので聞き取りやす

かったです。リトアニアの公用語はリトアニア語で、第二言語はロシア語やフランス語を学習するのが一般的なため、英語が話せない人が多いと聞きました。街でもローカルな店やバスなどでは英語は通じないので、あらかじめ必要と思われる単語や会話表現はリトアニア語に翻訳できるようにしていました。ヨーロッパは英語圏ではないので苦労するところの一つだと思います。

コースの内容は、DNAとRNAの抽出、精製、データ解析です。私が卒業研究で扱っている内容とは少し異なりますが、勉強したことがある内容だったので、英語での説明でも理解しやすかったです。もちろん、生化学の知識がほとんどなかったり、生化学ではおなじみの実験器具が使えなかったりする人もいましたが、そこはコミュニケーションをとりながら助け合って実験をしました。

2週間という短い期間でしたが、カウナスの紹介ツアーやヴィリニウスへのトリップ、International Partyなどが企画されており、プログラムは大変充実していました。International Partyは各国の伝統料理を持ちよって音楽を聴いたり、踊ったりしながら楽しむことができ、違うコースの人とも仲良くなれました。また、このBaltic Summer Universityに参加していた日本人は、私を含めて3人でした。佐賀大学が実施する短期プログラムSUSAPと異なり、日本人や日本語がわかる人が少ない環境で過ごせたことは自分にとって成長する良い機会でした。プログラム期間中、私を一番支えてくれた現地のコーディネーターにはとても感謝をしています。わからないことがあったらすぐに対応してくれたので、大変助かりました。

初めて訪れたリトアニアですが、治安がとても良く過ごしやすい国でした。一番驚いたことは、現地の人が日本人を他のアジア人と区別していたことです。アジア人とか中国人だとか、まとめられがちな日本人ですが、日本人としてみてくれていたことがとても嬉しかったです。「リトアニアってどこ？」とよく聞かれますが、知らないことが恥ずかしいほど良い国だと私は感じました。このサマープログラムはまだ始めて2年目ですが、これからも佐賀大学からの参加が続けばいいと思います。

交換留学

Student Exchange Program

佐賀大学は世界19カ国70大学と交流協定を締結しています。これらの協定校へ大学の推薦を受けて派遣される留学を「交換留学」といいます。

留学期間：1学期間または1年間 **応募時期**：第一期出発(4~9月)：12月、第二期出発(10~3月)：7月
応募資格：佐賀大学に所属する学部・大学院生であること。留学先で学習・研究するために必要な語学力を備えていること
応募方法：国際交流推進センターHPより応募書類をダウンロードし必要書類を作成の上、オンラインで申請
選考方法：書類審査および面接審査

《交換留学制度を利用することのメリット》

● 正規留学よりハードルが低い

交換留学生に求められる成績や語学力の条件は、学位取得を目的とした留学よりも低く設定されており、留学実現は難しくありません。しかし留学中に充実した学生生活を送るためには、継続的な語学学習による十分な準備が必要です。

● 協定校と佐賀大学が連携してサポート

佐賀大学の協定校は評価の高い教育機関です。事前に多くの情報が得られるだけでなく、留学期間中は佐賀大学からの交換留学生として様々な支援やサービスを受けることができ、安心して留学することができます。

● 留学先の大学で授業料を支払わなくてもよい

ただし、留学期間中も佐賀大学に授業料を納める必要があります。

● 留学先の大学で取得した単位が互換できる

単位互換には所属学部・研究科の認定が必要です。履修した科目によっては認められない場合もあります。

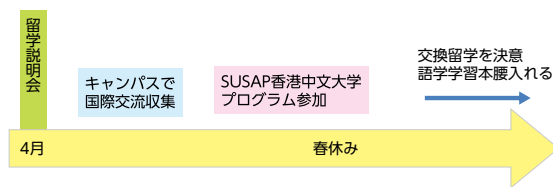
● 交換留学は休学扱いにならない

大学を休学して語学留学やワーキングホリデーなどをする場合は、卒業に必要な在籍日数が足りなくなることがあります。一方、交換留学は在籍期間にカウントされます。

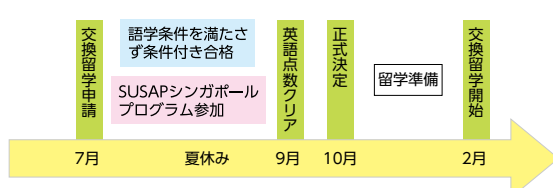
春出発の交換留学ロードマップ

経済学部A君の場合

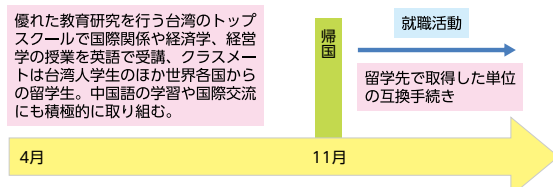
学部1年生



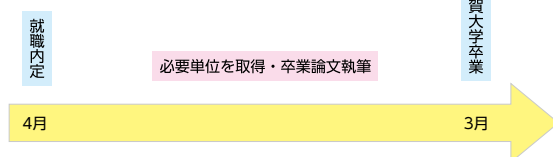
学部2年生



学部3年生



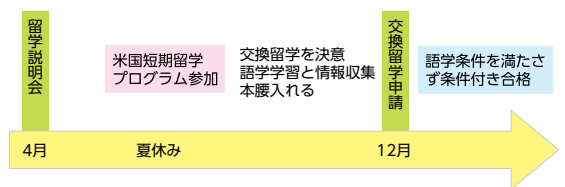
学部4年生



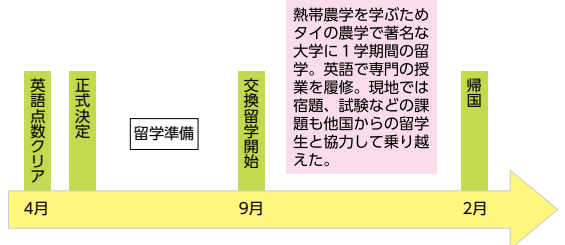
夏出発の交換留学ロードマップ

農学部Bさんの場合

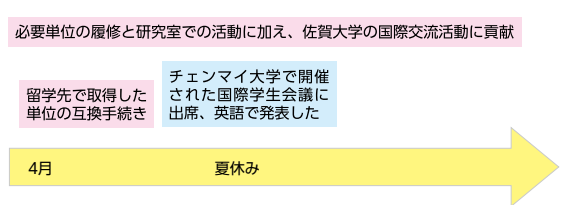
学部1年生



学部2年生



学部3年生



留学サポート

交換留学に必要なお金

留学に必要な経費は留学先や現地での活動内容、生活スタイルなどにより大きく異なります。最低限必要なお金は以下の通りです。

1年間の留学の場合

佐賀大学の授業料:年額535,800円

海外旅行保険:約100,000円

渡航費:アジア約3万円~欧州約20万円

生活費:右の表を参照

この他に、ビザ取得代や予防接種代(派遣先による)なども必要です。

これらの金額はあくまでも目安です。派遣先、留学期間、為替の変動などにより変わります。

現地での生活費は？

交換留学経験者に
聞きました！

| 国・大学 | 寮費 | 食費を含む生活費 |
|--------------------|----------|----------|
| 中国・北京工業大学 | 約2万5千円/月 | 約3万円/月 |
| 韓国・国民大学校 | 約18万円/年 | 約5万円/月 |
| 台湾・国立政治大学 | 約9万円/年 | 約5万円/月 |
| タイ・カセサート大学 | 約6千円/月 | 約4万円/月 |
| スリランカ・ペラデニア大学 | 約4万円/月 | |
| 米国・スリッパリーロック大学 | 約10万円/月 | |
| カナダ・ウィルフリッドロリエ大学 | 約4万円/月 | 約6万円/月 |
| フィンランド・ユバスキュラ大学 | 約3万円/月 | 約5万円/月 |
| リトアニア・ヴィタウタスマグナス大学 | 約4万円/月 | |
| フランス・ブルゴーニュ大学 | 約10万円/月 | |
| ドイツ・ドレスデン工科大学 | 約10万円/月 | |
| オーストラリア・ラトロープ大学 | 約8万円/月 | 約4万円/月 |

佐賀大学の奨学金(令和2年度)

佐賀大学から交換留学をする学生の奨学金受給率は100%です。奨学金は交換留学の学内選考の結果によって受給が決定します。審査は交換留学の申請書、学業成績、面接の結果で行われるため、別途、申請する必要はありません。

| 奨学金 | 対象となる学生 | 支援額 | 支援人数 |
|---|---|---------------------------------|------|
| JASSO海外留学支援制度 大学院連携による高度研究者・技術者教育プログラム | 大学院生(修士・博士課程) 31日以上の留学を行うもの。前年度GPA2.8以上 | 月額6~8万円 (最大6ヶ月) | 7名 |
| JASSO海外留学支援制度 地域社会と世界の課題解決に貢献する人材育成プログラム 多文化協働力を備えたグローバルシチズンを目指して | 学部・大学院生 半年間または1年間の交換留学を行うもの 前年度GPA2.8以上 | 月額6~8万円 (最大12ヶ月) | 30名 |
| 佐賀大学学生海外派遣奨励費 | 半年または1年間の交換留学を行うもの 通算GPA2.3以上 | 一時金 半年間の留学15万円 1年間の留学30万円 | 6名 |
| 佐賀大学校友会海外派遣奨励費 | 北米・ヨーロッパ・オセアニアに交換留学を行うもの 前年度GPA2.8以上。上記JASSOとの併給可能 | 渡航支援金 10万円 | 18名 |

JASSO奨学金を受給する学生のうち、一定の家計基準を満たすものには渡航支援金が最大16万円支給されます。また上記の奨学金以外にも、民間奨学金、ERASMUS+奨学金(EU加盟国への留学)、留学先国政府奨学金、トビタテ留学JAPAN奨学金(17ページ参照)などを受給して交換留学をした佐賀大生も多くいます。

留学情報コーナー

多文化交流ラウンジ(学生センター2階)では、海外の協定校や世界各国の大学の資料、留学経験者の声である交換留学報告書がいつでも閲覧できます。

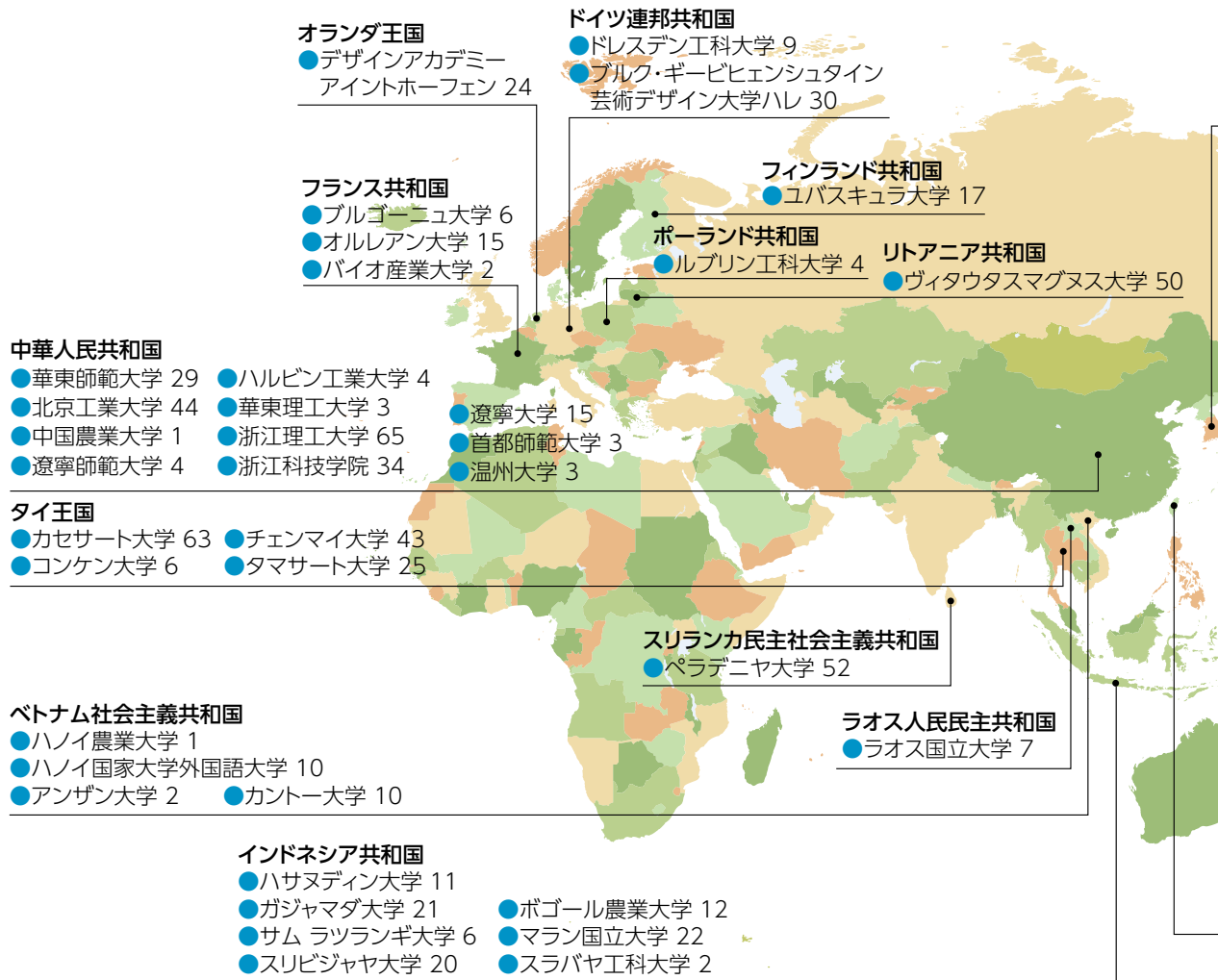


英語力強化支援 Academic Express 3

交換留学を実現するためには、協定校が求める語学基準を満たす必要があります。留学希望者のスコアアップ支援として、毎日飽きずに効果的な英語学習に取り組めるようオンラインの英語学習システムを導入しています。登録費や使用料は一切不要です。希望者は国際交流推進センターに問い合わせください。

佐賀大学の海外ネットワーク 19カ国70大学

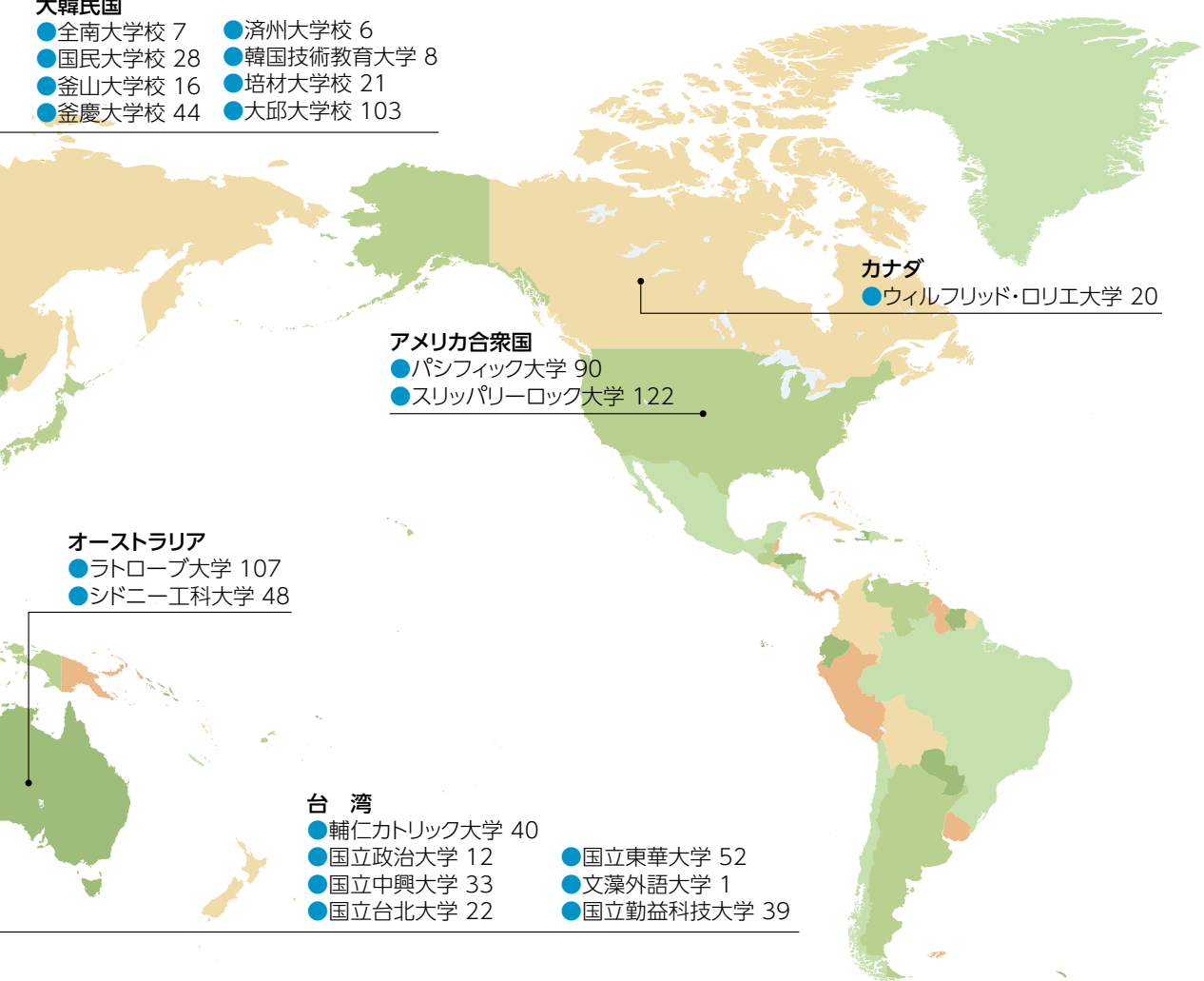
佐賀大学と学生交流の覚書を交わした大学は世界の様々な地域に広がっています。佐賀大学の学生だからこそ得られる貴重な海外留学の機会を活用して多くの経験をし、広い視野や知識、スキルを身につけましょう。皆さんのキャンパスは世界にもあります！



これまでに佐賀大学生が派遣された大学と人数を示しています。

大韓民国

- 全南大学校 7
- 国民大学校 28
- 釜山大学校 16
- 釜慶大学校 44
- 済州大学校 6
- 韓国技術教育大学 8
- 培材大学校 21
- 大邱大学校 103



過去5年間に佐賀大学生が交換留学した海外協定校トップ7

- | | |
|---|--|
| <p>第1位 中国・北京工業大学(14人) 「工業大学」という名前でも総合大学。質の高い中国語教育が受けられる</p> <p>第2位 フィンランド・ユバスキュラ大学(12人) 教育で有名なフィンランド。教育学部の学生が多数留学</p> <p>第3位 韓国・国民大学校(10人) ソウルで韓国語をマスターしたい人に人気。芸術学部が韓国トップクラス</p> <p>リトアニア・ヴィタウタスマグヌス大学(10人) 杉原千畝で知られるリトアニア。根強い人気</p> | <p>第5位 米国・スリッパリーロック大学(9人) 佐大と強い連携。短期プログラムの後、交換留学へステップUP</p> <p>第6位 台湾・国立政治大学(6人) 人文社会系の教育研究がトップクラスの大学 多数の専門科目を英語で学べる</p> <p>第7位 ドイツ・ドレスデン工科大学(5人) 留学したのは全員、工学系研究科の大学院生 研究を目的とした留学</p> |
|---|--|

帰国学生の声から



授業後に友達とボウリング

澤山芽衣 (農学部4年)

留学先:台湾・中興大学

フィンランド・ユバスキュラ大学

留学期間:2018年1月~2018年6月(台湾)

2018年8月~2018年12月(フィンランド)



寮の近くの湖
(フィンランド)

留学に至るまで

私の姉が佐賀大学に在籍中、交換留学をしたことなどの影響から高校の時から長期留学に興味を持ちました。私も大学に入ったら交換留学をしたいと考えていました。そこで大学入学後ISACという留学支援英語教育のクラスで英語を学びました。このクラスでは留学に必要な英語力を身につけることができるだけでなく、留学したいという人達が周りにたくさんいたのでとても良い刺激となりました。また、大学1年生の夏にSUSAP(佐賀大学短期海外研修プログラム)の台湾中興大学プログラムに参加し、台湾へ2週間の短期留学をしました。このプログラムは短期ではありますが、とても内容の濃い短期留学であり、交換留学をしたいという思いが高まりました。

もともと将来的に、地方公務員の技術職に就き、地域の農業振興をサポートしたいと考えていました。しかし、それまであまり海外へ行ったことがなく、日本での価値観、考え方しか知りませんでした。日本とは全く違う文化や農業形態を持つ台湾やフィンランドへの交換留学は、私の価値観や視野を大きく変えることのできる良い機会になると思ったので留学を決意しました。特に台湾の中興大学では、持続可能な農業や農業生産についての講義が英語で開講されているので、これらの科目を受講することで、より広い視点から農業を学びたいと考えようになりました。また、もう一つの交換留学先のフィンランドは、もともと教育で有名な国ですが、実は環境技術先進国でもあり、再生可能エネルギーや廃水処理などの分野で高い技術を誇っています。私自身、“持続可能な社会”について興味を持っていて、フィンランドでレベルの高い環境技術関連の講義を受けることによって持続可能な社会を実現するために私が勉強している分野からどのような貢献ができるのか学べると思いました。

台湾での留学生活

授業は中国語初心者コースに加え、Sustainable Farming and Practiceなどの専門科目を3科目、計4科目を履修しました。授業のほとんどがパワーポイントを使つての講義ですが、講義によっては土壌のPHを測定するなどの実験や、映画を観てレポートを提出するなどの課題がありました。いつも楽しみだったのが、台湾の果樹園芸についての講義で、毎回授業の終盤になると担当の先生が準備した台湾の植物をポットに植え替えたり、果物の甘味測定をしたりしました。台湾の植物や果物を写真だけではなく

実際に見て感じるができるのでとても勉強になりました。台湾の授業はとても活気があり、台湾の学生の積極性や教授との距離の近さに驚きました。講義中でわからないことがあった時など、その場で質問したり、意見を述べたりするなど見習わなければならない所が沢山ありました。

フィンランドでの留学生活

フィンランドの授業はグループワークやディスカッションが多く、主体的に取り組むことができました。さらにプレゼンテーションの機会が多く、英語科目だけでなく専門科目でも、それぞれの科目で少なくとも1回はプレゼンテーションをする必要がありました。特に専門科目でのプレゼンテーションは事前にはしっかりと準備をする必要がありました。また、予習の量がとても多く、毎回の授業の前に指定された大量の文献または教科書のページを読まなくてはなりません。授業自体、これらの予習が完了していることを前提に進められるので大変でした。しかし、それだけ毎日を充実して過ごすことが出来ました。フィンランドにはたくさんの美しい湖があることで有名ですが、私が住んでいたアパートから歩いてすぐの場所に湖がたくさんありました。湖の周りには散歩コースがあり、よく授業が終わった後や休日に湖の周りを散歩したりしました。また私はもともと絵を描くのが好きなので絵を描くサークルに参加したりしました。

帰国後の留学生活

帰国後、まず留学先で取得した単位を佐賀大学の単位に交換する手続きを行いました。結果的に台湾とフィンランド合わせて13単位を佐賀大学の単位として交換することが出来ました。長期留学というやはり4年では卒業できないというイメージですが、単位交換ができれば十分卒業可能で、そういう意味で佐賀大学は留学するのにとても良い環境だと思います。また、同じ国や大学に1年間留学するのが主流ですが、2つの国に半年ずつ留学してみるのもまた1つの選択肢としてありなのではないかと思えます。もちろんその分手続きなどは多いですが、2つの国に留学することによってまた新しい発見ができ、楽しさも2倍となると私は思っています。

私は佐賀大学を卒業後、佐賀大学の大学院へ進学する予定です。交換留学で得たことを活かして地域の農業に貢献できる人材となれるように頑張りたいです。



英語の授業の様子(フィンランド)



果物の糖度を測る授業(台湾)

| 単位互換 | |
|---|-------------------|
| 台湾での科目 | |
| • Cultural Technology of Horticultural Crops | → 食料環境部総合実習Ⅰ(2単位) |
| • Sustainable Farming and Practice | → 食料科Ⅱ(2単位) |
| • ISAP in Ag Business and Environmental Awareness | → 食料環境部総合実習Ⅱ(2単位) |
| フィンランドでの科目 | |
| • Environmental technology | → 食料科Ⅱ(2単位) |
| • Sustainable water usage and pollution | → 食料科Ⅱ(2単位) |
| • Academic English Communication | → 国際センター(2単位) |
| • Basic Academic Writing for International Students | → 国際センター(2単位) |
| • Intensive Summer Course in Academic English | → 国際センター(2単位) |



自分で開催したコンサート

松本直朗 (教育学部3年)

留学先:アメリカ・スリッパリーロック大学
留学期間:2018年8月~2019年5月



大学で行われたイベントで日本人留学生と

夢だった留学

高校の頃、留学をするということは私にとって雲を掴むような話で、「いつかできたらいいな」と思うくらいにはるか遠い未来のことだと思っていました。家族に一度相談をしてみたのですが、許してもらえなかったからです。しかし、大学に入学する際、ISAC(留学支援英語教育カリキュラム)や佐賀大学の留学支援体制を知ってから留学したいという気持ちが徐々に強くなっていきました。英語はあまり得意な方ではなかったのでISACの選抜試験を受けた時は、落ちただろうと諦めていましたが、なんとか合格することができ、大学では英語も思いっきり勉強しようと決めました。ISACの英語の授業は高校とは違い、実用的で、特に自分のスピーキング力の無さを痛感させられることが多々ありました。留学したいという気持ちを持つと同時に、こんな英語力で留学して大丈夫かという不安や焦りも出てきました。交換留学をしようという気持ちを決定的にしたのは大学1年の9月に行ったアメリカ、スリッパリーロック大学への2週間の研修旅行でした。初めて海外の大学に行った私は、様々なものが新鮮に見え、たった2週間でも英語を話す力がついたように感じ、ここでもっと勉強したいと思いました。そこからは留学に関する情報を集めたり、奨学金のことなどをたくさん調べ、学内審査を経て2年生の8月から交換留学をすることが決まりました。

授業について

交換留学先は短期留学をしたスリッパリーロック大学にしました。この大学に決めた理由は、まず英語圏であること、そして短期留学中に会ったサクソフォンの先生に長期留学を薦めてもらったからです。私は教育学部で音楽を専攻していることもあり、英語力をつけると同時に楽器の演奏技術をつけることやアメリカの音楽教育を知ることなどを目標に留学をしました。留学先の大学では音楽学部という独立した学部があり教育学部と比べ、より高度な演奏技術を学ぶことができました。履修した科目は音楽史やサクソフォンの個人レッスンの授業、ジャズバンドの授業などがありました。音楽史の授業ではただでさえ内容が複雑な科目を英語で学ぶという二重の大変さを味わい、1時間の授業のために予習や復習に3、4時間かかることもよくありました。楽器演奏の授業では、上で述べた先生がとて親身に教えてくださり、演奏の上達を自分自身も感じることができるくらいに成長しました。



お世話になったサクソフォンの教授

成果披露

個人レッスンの授業で最後に課された課題は自分でコンサートを行うことでした。普通であれば3年生に課されるものですが、せっかく留学をしたのだから、成果を披露する場があったほうがいいという先生の考えで決められました。ただの演奏とは違い、コンサートを行うには会場や伴奏者の手配、ポスターやプログラムの作成などが必要で、今まで全くやったことのないことにたくさんチャレンジしました。本番はとても緊張しましたが、アメリカ人や留学生の友達、大学の先生などたくさんの人に演奏を聴いてもらうことができ、大きな達成感を得ることができました。これらの成果もあり、音楽の専門科目のいくつかを単位互換することができました。

留学での経験

留学後、私は演奏活動でより多くの人を楽しませたいと考えるようになりました。そこで、同じ音楽科の友人と相談した結果、まずは小さな演奏会をしようということになり、11月に1回目のランチタイムコンサートで大学の教室で行いました。小さい教室でしたが予想を大きく上回り立ち見が出るほどの人に集まってもらいました。1月にも同じコンサートを開きましたが、これらのコンサートはポップスを中心に演奏しましたが、クラシックにも親しみを持ってもらいたいと考え、ランチタイムコンサートで集めたお客さんにも宣伝をし、2月に県立美術館ホールで演奏会を行います。アメリカで得た音楽経験は、日本に帰国してからの私に行動力を与えてくれました。最近では、海外の大学院に進学することを視野に入れ勉強を続けています。このように、私はこれからも留学経験を糧にこれから様々なことにチャレンジしていきたいと考えています。

留学に行ったと言うと、「怖い」「危ない」と言われることが多々ありますが、実際には、自分に全く新しい考えを与えてくれる、人生にとって貴重な経験になることは間違いありません。留学へ一歩踏み出す勇気がない人は、まず海外のことを調べてみたり、様々なイベントに参加することで、留学への関心を高めてみてはいかがでしょうか。



1回目のランチタイムコンサート

社会で活躍する先輩



勤務先

勤務先 アミタ株式会社

<https://www.amita-hd.co.jp>



「持続可能社会の実現」をミッションに、企業・地域のサステナビリティ向上に資するソリューションを提供する企業。「社会ニーズ(環境保全・人のつながり等)」と市場ニーズを同時に満たすサービスを通して、社会課題の解決に取り組んでいます。【企業向けサービス】サステナブル戦略立案支援・環境管理業務のアウトソーシング・環境認証審査・100%リサイクル等【地域向けサービス】域内の未利用資源を活用した自立型の地域づくりをビジョン策定から実践まで支援

「大切なものために行動を起こす」という人としてあるべき姿を、家族や友人を思い、支え合う中国人から学びました。今起きている地球温暖化や自然災害を食い止められるような仕事がしたいと思っています。

アミタ株式会社 原 千恵子さん

文化教育学部国際文化課程
2016年度卒業

留学
DATA

- ◎短期留学
SUSAP香港中文大学プログラム(学部1年生)
- ◎交換留学
中国・北京工業大学
(学部2年生2月～3年生1月)

「高校生の時、佐賀大学ではどんなことを学びたいと思て入学しましたか？留学のきっかけは？」

正直なままに話すと、高校の頃はあまり将来の自分が想像できておらず、ぼんやりと「国際交流ってなんかいいなあ。英語ペラペラ喋れたらカッコいいなあ。」という感じでした。高校の頃は学校が終わると全力で帰宅するような内向的な性格でした。その反動で、大学入学当初から、やりたいと思ったことをやらなければ絶対に後悔すると思っていました。そして必ず行動を起こすと決心しました。これが全ての始まりで、社会人になってからも、この行動力が自分の基盤になっています。

一度も海外に行ったことがなかったため、とにかく第一歩を踏み出してみようと大学1年の終わりに10日間の香港中文大学プログラムに参加しました。香港の学生達と交流し、彼らの温かさや積極性、学習意欲に触れ、世界にはこんなに素晴らしい人達がいるのかと衝撃を受けました。思い出だけにすまないと、社会人になってからもずっと交流を続け、今でも日本で働いている香港のメンバーと会ってご飯に出かけたりしています。

この短期プログラムをきっかけに、次の第二步目を踏み出そうと決意し、大学2年次に留学担当の先生の研究室へ向かいました。とにかく留学したい、もっと知らない世界を見たいという抽象的な想いしかなかった私を決して否定せず、様々な可能性を提案して頂き、留学への具体的なイメージを持つことが出来ました。

「交換留学先として中国を選んだ理由は？」

留学窓口の先生を訪問した際は、まだ「なんか英語ペラペラ喋ったらカッコいいなあ」の域を出ていなかったのですが、先生との会話をゆっくり落とし込み、留学を通して学びたいものをもう一度考え直す中で、目的が語学というのは少し微妙だなと感じるようになりました。香港で出会った学生たちは長期留学をしなくても日本語が流暢

だったのを思い出し、語学は国内でもできると思いました。もう一つ思い出したのは、佐賀大学で初めて出来た中国人の友人でした。中国と言うと、なんとなく否定的なイメージを持ってしまう日本人は多いと思うのですが、彼女は明るくはつらつとして、ひたすら優しく親切でした。日本のメディアが伝える中国と、実際の中国は実はかなり違うのではないだろうか、それこそ私が現地に行って肌で感じるべき学びじゃないのかと考えるようになりました。ようやく答えが定まった私は、大学2年の春休みから中国の北京工業大学へ1年間の交換留学をすることにしました。

「どんな留学生活でしたか？」

留学は、すごく、お勤めです。自分の常識を覆されるようなことが毎日起きます。そして、しんどいことも大抵は「笑い」に変えられることに気づきます。そしてどうしても笑いに変えることが出来なかった事は、自分の「核」になると思います。中国で生活して分かったのは、中国の人々は情に厚く、たくましいということでした。留学初期、私は「你好」と「谢谢」だけの中国語力で、IHのフライパンを買いに行きましたが、店員さんに尋ねると、紙とペンを持ってきて、買いたい物を絵で伝えるよう促してくれました。それから中国ではお年寄りが電車に乗り込むと、皆さん必ず席を譲ります。私はこのような中国人の優しさに何度も何度も助けられました。日本へ来る中国人旅行者を騒がしいと感じる人が多いと思いますが、よく彼らの会話を聞いてみると、実は「こちら！ご飯残したら失礼にあたるんだよ！日本の文化尊重しよう！！」と言っていたりします。



中国語授業の先生やクラスメートと一緒に

「佐賀大学での学生生活を振り返って、どんな学生生活を過ごされたのか教えてください。」

中国から帰国した後、私は大学4年生になりました。留学を経験した自分だからこそ出来ることがあるのではないかと思います、留学生や留学を希望する日本人学生のサポートを行う「佐賀大学グローバルリーダーズ」に入りました。また、日本人チューターとして、留学生寮の国際交流会館に1年間住み、日々留学生と関わるように努めました。友人が増えていく感覚の方が強く、サポートと言えるほどの仕事はできていなかったかもしれません。しかし、留学生には留学を経験していない日本人学生よりも気楽に気構えずにコミュニケーションができると言ってもらえたので、文化や国籍など関係なく、留学生の気持ちに寄り添って一緒に過ごせたように思えます。これは一番の成果かも知れません。

「就職活動はどうでしたか？」

なかなか過酷でした。留学や学内での国際交流を通して得た異文化理解力や語学力を活かせる場所で働きたいと思い、様々な企業にエントリーしました。最初に内定を頂いたところが魅力的だったため入社しようと決めていたのですが、規模もあまり大きくなく、両親に猛反対されました。今考えれば、最初の内定で、自分を納得させようとしていた私を両親は見抜いていたのだと思います。一緒に留学生寮でチューターをしていた日本人の先輩から「社会へ飛び込む最初の最初、新卒で入ることが出来る企業は1社だけ。そう考えたら、もっと視野を広げて熟考するべき」とアドバイスをもらいました。そして就職活動をやり直すことを決めたのは、大半の学生が就活を終える8月でした。9月は新採用を締め切る企業も多く、周りは卒業旅行の計画を立て始めていた時期でした。しかし幸いなことに、海外に拠点を持ち、留学経験者を求めている特殊鋼メーカーに内定を頂くことが出来ました。内定を告げられた最終面接の帰り道、涙が溢れました。

「現在のどんなお仕事をされていますか？」

新卒で入社した特殊鋼メーカーでは経営企画部に1年半、営業企画管理部に2年勤めました。新入社員の際は、グループ全員が私の教育担当だったと言っても過言ではないほど温かく支えてもらい、異動先の部署でもミスは必ずフォローするからと、最高に頼れる部長や先輩のもとで働くことが出来ました。しかし、大量に電力を消費する製造業で、間接的に環境を破壊して暮らしているのではないかと、今起きている地球温暖化や自然災害を食い止められるような仕事に携わることができないかという思いが日ごとに強くなりました。そして人だけでなく地球のために生きたいと考えるようになりました。姫路から東京に異動となったこともあり、自然と共生したい願望が爆発した結果、畑を借りて週末に自然栽培の授業を受けるようになりました。

入社4年目に転職する決心をし、現在、持続可能な社会を目指して環境事業を展開する会社に入社しました。まだ



帰国後の学生生活も国際交流の毎日でした

入ったばかりで手探りの状態ですが、会社の目指すところを聞いたびにやっぱり「ここだ!」と感じます。人によって仕事に求めるものはそれぞれですが、私は環境保護を自分の人生の中心軸にしているの、自分の携わる仕事はその軸からぶれていないか、一致しているのかを最も重要視しています。マクロな目標「(自然環境との共生)」を実現するために、ミクロな実務をどれだけ上手くこなすかを考えながら生活しています。仕事以外の今年の計画は、不耕起栽培の田んぼづくりにチャレンジする予定です。少しでも自然と足並みを揃えながら生活していきたいなと思っています。

「自分の留学経験はどのように仕事や生活に影響していると思いますか？」

現在の自分すべてに影響しています。「大切なもののために行動を起こす」という人としてのあるべき姿を、私は家族や友人を想い支え合う中国人から学びました。また留学に挑戦できる環境やチャンスを自ら掴んだことで、自分にはここまでできる強い意思があるのだと自信に繋がりました。留学をすると、どんどん挑戦することの面白さが分かってきます。24時間布団にいるより、16時間駆け回って滑り込む8時間の布団の方が何千倍も心地よいです。言わずもがな、国際化が進む社会で留学経験があるというのは強みになります。就活・転職活動に成功したのもこれがかかなり大きかったです。

「佐賀大学生にメッセージをお願いします。」

全力で突き進んで下さい。まだ何をしようか決めかねている方、とにかく興味の向くままに動いてみて下さい。周りのことも、自分のことも見えてきます。行動に移してきた経験が、将来への道しるべになります。それから、何かを良くしようと一生懸命に動いている人には、必ず手を差し伸べてくれる人が出てきます。出来ないかもしれないからと、やらずに諦めるのはもったいないです。そして出来れば「自分のため」というところから、もう一歩踏み出してください。

佐賀大学と周りの方々にはしっかり支えられて、しっかり大学生活を謳歌して下さい。

Tobitate! Mext JAPAN

「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」は、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。2020年までの7年間で約1万人の高校生、大学生を「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」の派遣留学生として送り出す計画です。派遣留学生は支援企業と共にグローバル人材コミュニティを形成し「産業界を中心に社会で求められる人材」、「世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材」へと育成されます。帰国後は海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリスト（伝道師）として日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。

日本代表プログラムの5つの特徴

POINT1 多様な活動を支援

単位取得を前提としたアカデミックな留学だけでなく、インターンシップやボランティア、フィールドワークなど、多様な活動を支援します。

※学修活動として所属機関の認定が必要

POINT3 留学事前事後研修が充実

将来の日本に求められる資質や能力を伸ばすため、各界のリーダーによる指導を受けられます。

POINT5 手厚い支援

手厚い奨学金が給付されます。返還の必要はありません。奨学金(月額12～16万円)、留学準備金(往復渡航費等の一部)、授業料(大学、大学院での授業料の一部)

POINT2 留学プランを自分で設計

学生が自ら定めた明確な目標実現のために「実践活動」が含まれる留学計画を28日間から2年以内で自由に組み立てることができます。

※3か月以上を奨励

POINT4 グローバル人材コミュニティ

全国から選ばれた歴代の派遣留学生や支援企業の方々と交流する機会のある「トビタテ！留学JAPAN」独自のコミュニティに参加できます。

詳細は、「トビタテ留学JAPAN 日本代表プログラム」のHPをチェックしよう！

<https://www.tobitate.mext.go.jp/>

5つの募集コース

COURSE1: 「理系・複合・融合系人材コース」※「未来テクノロジー人材枠」を含む

COURSE2: 「新興国コース」

COURSE3: 「世界トップレベル大学等コース」

COURSE4: 「多様性人材コース」

COURSE5: 「世界とともに発展するSAGANグローバル人材育成事業」



佐賀県 世界とともに発展するSAGANグローバル人材育成事業

さが地方創生人材育成・活用推進協議会（事務局：佐賀大学）では、佐賀県地域の企業からの寄附に加え、佐賀県及び文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクトからの支援により、海外留学と県内企業でのインターンシップを組み合わせた海外留学支援事業を実施しています。

佐賀県地域の企業等に就職する等、将来の佐賀県地域の発展に貢献することを希望する学生が対象です。関心のある学生は、ホームページで詳細を確認してください。

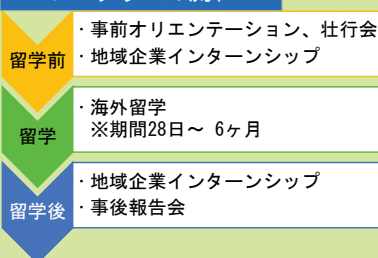
<http://tobitate.ryugaku.saga-u.ac.jp>



地域独自のプログラム

- 1) 県内のものづくり活性化のための国内外インターンシッププログラム
- 2) 唐津コスメティック構想の実現や県内農産品輸出促進・県内農業活性化のための国内外インターンシッププログラム
- 3) やきものを中心としたアートやアートプロジェクトによる地域振興のための国内外インターンシッププログラム
- 4) インバウンドが期待される、佐賀県が撮影誘致する映画・映像制作における国内外インターンシッププログラム
- 5) その他、佐賀県地域の活性化につながるグローバル課題解決型プログラム

ープログラムの流れー



ー奨学金等ー

- 月額奨学金**
渡航先に応じ、一人当たり月額12～16万円
- 研修参加費**
日本代表プログラム全体で実施する事前・事後研修への参加費
- 往復渡航費**
留学先への渡航及び帰国のための旅費の一部
- 授業料**
上限額 30万円

全国コース(2018年～2019年出発)

| | 所属 | 氏名 | 留学先 | 留学計画のタイトル・活動 | 留学期間 |
|------|--------|--------|----------|---|------|
| 第7期 | 農 | 松本 啓 | オランダ・パラオ | テクノロジーと融合させた革新的な農業によりこれからも安心して食を楽しめる世の中へ(農業研修・インターンシップ) | 13ヶ月 |
| | 農 | 中谷 優希 | オランダ・ドイツ | 人々の心を豊かにする農業コンサルタントへの道(農業研修) | 12ヶ月 |
| 第8期 | 理工 | 高尾真瑠美 | フランス | 光で駆動する超分子ポリマーの開発を目指して(研究活動) | 2ヶ月 |
| | 農 | 古川 拓実 | カメルーン | いざ!未踏の地アフリカのカメルーンへ!!カメルーンと自分のために尽くす半年間(海外協力隊プロジェクト) | 6ヶ月 |
| 第9期 | 工学系(院) | 山下 雄大 | ドイツ | 有機・無機層状へドロプスカイト化合物薄膜の物性値測定(研究交換留学) | 4ヶ月 |
| 第10期 | 農学系(院) | 松本 めぐみ | ドイツ | 糖尿病とその原因となる環境刺激との関係の解明(研究活動) | 10ヶ月 |

地域人材コース(2018年～2020年出発)

| | 所属 | 氏名 | 留学先 | 留学計画のタイトル | 留学期間 |
|------|--------|-------|-----------|---|------|
| 第9期 | 芸術地域 | 向窪 梨乃 | ドイツ | 焼物デザインの考えを深める(交換留学) | 3ヶ月 |
| 第11期 | 教育 | 古池 伶美 | フィンランド | ICTで佐賀から教育を変える!!(交換留学・インターンシップ) | 5ヶ月 |
| | 教育 | 豊田野乃花 | フィンランド | 環境教育を通じて、自然と子どもを結び、環境に優しい社会を!!(インターンシップ) | 6ヶ月 |
| | 芸術地域 | 江越 未悠 | オランダ | 人とモノをつなぐ。伝えるチカラで、佐賀のモノ・コトをより魅力的に発信!(交換留学) | 5ヶ月 |
| | 工学系(院) | 石井 寿斗 | ベルギー | 光学先端技術であるラマン光活性分光についてアントワープ大学との共同研究の先駆け(研究活動) | 6ヶ月 |
| | 理工(院) | 清田 隼利 | イギリス・フランス | 佐賀県の陶磁器産業の活性化を目指して(語学学校・研究交換留学) | 5ヶ月 |

留学を通じ研究者としての礎を築く

工学系研究科循環物質化学専攻 山下雄大 (全国版)

大学院修了後は研究者になると決意していたため、これまで蓄積した専門知識、実験技術、論理的思考力のアウトプットの機会となればと思い、研究留学に踏み切りました。留学するにあたり自らCV(履歴書)を作成し、専門分野を活かせる研究機関にメールを送り受け入れ機関を探しました。さらに留学期間、滞り場所等の決定も全て自分で行いました。

通常、こうした自己企画型留学を支援して下さる留学支援システムには多くの制限(活動内容、期間、留学場所)があります。しかしながら、「トビタテ!留学JAPAN」による留学プログラムでは①多様な活動を支援しており、さらに②自ら留学の計画を立てることが可能です。そして③手厚い支援もこのプログラムの魅力の一つです。

滞在したドイツのレイプニッツ高分子研究所では、太陽電池への応用が期待される新規材料開発を目指して研究活動に従事しました。多種多様なバックグラウンドを持つ研究者の中で自らの意見を伝え議論を交わす機会が多く、多くの学びがありました。時には意見が食い違い衝突したり、提示した結果、考察を批判されたりと苦汁を嘗めることはありましたが、全ての経験は研究者としての礎を築いていく上での大きな糧となっていると思います。

海外の地で異文化交流を通じることで、自分の視野を広げ視座を高めることができ、そこに留学の大きな価値があると私は考えています。有限な時間の学生生活の中で、留学費用を捻出するのは難しいとは思わず、是非こうした留学支援プログラムを上手く活かし海外でチャレンジしてみてください。後輩の皆さんの挑戦を心から応援しています。



同僚と研究終わりのパパ



環境保全イベントの様子

フィンランドで環境教育について学ぶ

教育学部 豊田野乃花 (地域人材コース)

私は、トビタテ11期としてフィンランドへ留学しています。2019年11月から2020年4月までの半年間、現地の環境保全NGOでボランティアをしつつ、教育現場を視察しながら環境教育について学んでいます。今回の留学の目的は「子どもたちが遊びながら自然環境に親しみを持てるような場所」を作ることです。将来的に佐賀県から全国に向けて発信していくつもりです。

トビタテ留学JAPANで留学して良かったことが2点あります。一つ目は「手厚い奨学金と事前事後指導」の存在です。留学へ踏み切れない人たちの中には「金銭面」で悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。トビタテでは返済不要の奨学金をもとに現地で活動に打ち込むことが出来ます。また、留学前後に研修があり、そこでは全国の熱い志を持った仲間と出会うことが出来ます。ここがトビタテならではの良い点で、皆さんにお勧めしたくなる理由です。二点目は様々な留学に対して柔軟に対応しているということです。現在、私は交換留学ではなく、現地でのボランティアという形でフィンランドにきています。交換留学以外の留学をしてみたいという方にお勧めの留学方法です。

大学生の今だからこそ、世界にとびだしてみたいと思います！応援しています。

キャンパスでの国際交流

International Exchange On Campus

ゼロから始める～交際交流サークル・留学生サポート

佐賀大学のキャンパスでは国際交流が活発に行われています。初めの一步を踏み出しませんか？

留学生チューター

僕は一年生の後期から留学生チューターをしています。高校生の時に留学の経験があり、現地の生活を助けてくれた親友たちへの強い憧れがチューターになった大きなきっかけです。

僕はリトアニア出身の留学生を担当しています。普段は英語で会話をしますが、彼は日本語もとても上手に話します。会わない日がないくらいに親しくなることが出来ました。彼は勉強もとても熱心で、日本語の宿題を時々見てあげます。

留学生は初めて来日することが多く、異国で長期滞在するのはとても不安です。そこで彼らの一番の近く存在となるのが、チューターです。最初に出会う日本の友達であり、年齢も近く、同じ学校に在籍する僕たちが、チューターとしての役割だけでなく、日頃から大切な一人の友達として言語の壁を飛び越え心から接することで、留学生たちも日本での生活を謳歌できますし、チューター・チューティーという関係を超えて、一生の絆を築くことができます。

最初は慣れない仕事が多く不安になるかもしれませんが、一つ一つきちんとこなしていけば大丈夫です。英語も日常的に話すことが出来ますし、グローバルな視点を日頃から身につけることができますようになります。最後まで彼が日本で充実した生活を送れるようにサポートしていきたいと思います。

申し込み・問い合わせ:

st-ab@mail.admin.saga-ac.jp 国際課

*メールに自分の名前、学年、所属、ボランティアできる時間を書いて下さい。



LIFE

私たちLIFEは、留学生を対象とした国際交流イベントの企画、運営を行っています。大学内だけでなく、地域の方と一緒に活動することもあります。国際交流という言葉力やコミュニケーション能力に不安を感じることもあるかもしれませんが、決してハードルが高いものではありません。個性豊かなメンバーみんなで楽しく活動しています！ぜひ気軽にイベントに参加してみてください！また、メンバーのほとんどが留学(短期、長期)経験者です。留学に関心がある方も遠慮なく相談してください！

連絡先:sagalife2018@gmail.com (代表 田崎)

Instagram:sagalife2018 Twitter:sagalife_2018



留学生とバルーンフェスティバルへ！

Nexus One

～佐賀からできる国際交流～

私たちは七夕やクリスマスなど、季節行事にあわせた留学生向けのイベントを開催しています。また、留学生をゲストに招き異文化トークをするラジオ番組を放送したり、佐賀市で行われる交流イベントに参加したりなど、地域の方を巻き込んだ国際交流にも挑戦しています。大学生から始める国際交流にぴったりのサークルです。TwitterやFacebookでイベント告知や活動の様子を投稿していますので、ぜひチェックしてみてください！

連絡先:nexusone0326@gmail.com (代表 石崎)

Twitter: @NexusOne2014

Facebook: @Nexusone0326



毎月第4火曜日19:00～ えびすFMにて放送中
「NexusOneの世界一たためになる夜！」

主な派遣先大学&詳細一覧

| | | |
|--------|--|---|
| アメリカ | パシフィック大学 Pacific University http://www.pacificu.edu/ | |
| | 所在地 | フォレストグローブ 指導言語 英語 学年暦 1学期：8月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 語学条件 | ブリッジプログラム：TOEFL ITP 500以上 学生寮 あり 派遣人数 1名 一般プログラム：TOEFL ITP 550以上 |
| | 特色 | アメリカの若者に人気のある都市、ポートランドから約1時間半の場所にキャンパスがあります。緑豊かな落ち着いた環境です。第二言語として英語を教えるESOL(English for Speakers of Other Language)の授業を受けられるのが魅力です。 |
| アメリカ | スリッパリーロック大学 Slippery Rock University http://www.sru.edu/academics/globalengagement/Pages/Exchange-Visiting.aspx | |
| | 所在地 | ペンシルベニア州 スリッパリーロック 指導言語 英語 学年暦 1学期：8月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 語学条件 | OEFL ITP 500以上 学生寮 あり 派遣人数 1名 |
| | 特色 | 佐賀大学の卒業生が現地で日本語教育に携わっており、佐賀大学との交流が大変活発な大学です。国際交流クラブなどが盛んで、留学生向けアクティビティやフィールドトリップが豊富。安心して学業に取り組める環境です。 |
| カナダ | ウィルフリッドロリエ大学 Wilfrid Laurier University http://www.wlu.ca/ | |
| | 所在地 | カナダ 指導言語 英語 学年暦 学期：9月～12月、2学期：1月～4月 |
| | 語学条件 | TOEFL-ITP 570以上 学生寮 あり 派遣人数 2名 |
| | 特色 | 地元警察や大学警察も街に常駐し、夜遅くに帰宅する際にエスコートしてくれるボランティア学生団体があるなど、学生に優しい。TOEFLの条件は厳しい大学ですが、優れた研究と質の高い教育を得られます。挑戦の価値あり! |
| フィンランド | ユバスキュラ大学 University of Jyväskylä https://www.jyu.fi/en/ | |
| | 所在地 | ユバスキュラ 指導言語 英語 学年暦 1学期：9月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 語学条件 | TOEFL-ITP 520以上 学生寮 あり 派遣人数 4名 |
| | 特色 | 佐賀大生に最も人気のあるフィンランドの協定校。「人と自然に優しい社会」を探ることを目的に学部生が多数です。理系・文系問わず、英語で提供される授業が多く、ホストファミリー、言語交換など現地の社会や文化にもたくさん触れられる大学です。 |
| リトアニア | ヴィタウスマグヌス大学 Vytautas Magnus University http://www.vdu.lt/en/ | |
| | 所在地 | カウナス 指導言語 英語 学年暦 1学期：8月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 語学条件 | TOEFL-ITP 520以上 学生寮 あり 派遣人数 4名 |
| | 特色 | 第二次世界大戦中に杉原千敏が多くのユダヤ人にビザを発給した場所です。新日家が多く日本語学習や日本の文化が大変人気です。英語の話せるチューターがついて生活のサポート。英語で開講されている授業を学部関係なく自由に履修することができます。 |
| フランス | オルレアン大学 Université d'Orléans http://www.univ-orleans.fr/ | |
| | 所在地 | オルレアン 指導言語 英語・仏語 学年暦 1学期：8月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 語学条件 | フランス語学習：DELTA A1 相当/研究留学：TOEFL-ITP 480以上 学生寮 あり 派遣人数 3名 |
| | 特色 | パリから電車で1時間ほどの距離にある落ち着いた街にキャンパスがあります。日本語や日本文化を勉強する現地学生との交流も豊富。令和元年度は理系の大学院生が半年間の研究留学をしました。 |
| フランス | ブルゴーニュ大学 Université de Bourgogne http://www.u-bourgogne.fr/ | |
| | 所在地 | ブルゴーニュ 指導言語 英語・仏語 学年暦 1学期：8月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 語学条件 | フランス語学習：仏検定4級以上 学生寮 あり 派遣人数 2名 研究留学：TOEFL-ITP 480以上 |
| | 特色 | 佐賀大学工学系研究科で材料科学、電気電子・情報知能分野を専攻 ワインで有名なブルゴーニュならではの、「ワイン学」や「美食法」の授業をフランス語の授業の一環として学べます。 |
| フランス | バイオ産業大学 Ecole de Biol https://ebi-edu.com/en/ | |
| | 所在地 | セルジー 指導言語 英語 学年暦 1学期：9月～1月、2学期：2月～6月 |
| | 語学条件 | 研究留学：TOEFL-ITP 480以上 学生寮 あり 派遣人数 3名 |
| | 特色 | 農学研究科・先進健康科学研究科に所属する修士課程の大学院生が対象の留学先です。 英語による専門科目の履修や研究活動への参加に加え、英語やフランス語の能力を高める授業に参加することができます。 |

*リスト以外の学術協定校への留学を希望する場合は、応募前に国際課に問い合わせてください

主な派遣先大学&詳細一覧

| | | | | | | |
|---------|---|---|------|------------------------------|-----|-------------------------|
| オランダ | アイントホーヘン芸術アカデミー Design Academy Eindhoven | | | https://www.designacademy.nl | | |
| | 所在地 | アイントホーヘン | 指導言語 | 英語 | 学年暦 | 1学期：8月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 語学条件 | TOEFL-ITP 520以上 | | | 学生寮 | あり |
| | 特色 | アートやデザインを専攻する学生を対象。製作活動にのり環として様々な国籍の学生や教員英語と活発に議論する機会に恵まれます。コンセプトやプロセスを重視し、作品の意味や価値を言葉で表現するトレーニングができます。 | | | | |
| ドイツ | ハレ芸術大学 Burg Giebichenstein Halle | | | http://www.burg-halle.de | | |
| | 所在地 | ハレ | 指導言語 | 英語・独語 | 学年暦 | 1学期：8月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 語学条件 | TOEFL-ITP 520以上 | | | 学生寮 | あり |
| | 特色 | アートやデザインを専攻する学生を対象。日本と異なる環境の中で新しいものを掴み取るチャンス。授業は英語やドイツ語で行われます。 | | | | |
| オーストラリア | シドニー工科大学 University of Technology, Sydney | | | http://www.uts.edu.au/ | | |
| | 所在地 | シドニー | 指導言語 | 英語 | 学年暦 | 1学期：2月～6月、2学期：7月～11月 |
| | 語学条件 | ブリッジプログラム：IELTS 5.5以上 一般プログラム：IELTS 6.5以上（ただし、工学部は6.0） | | | 学生寮 | あり |
| | 特色 | キャンパスはシドニー市の中心部。スコアが足りない人は“Australian Language and Culture Course”に参加し、学術英語を強化。工科大学という名前ですが、人文社会系の学部もある総合大学です。デザイン、建築、ITなどを学ぶ学生におすすめです。 | | | | |
| オーストラリア | ラトロープ大学 La Trobe University | | | http://www.latrobe.edu.au/ | | |
| | 所在地 | メルボルン | 指導言語 | 英語 | 学年暦 | 1学期：2月～6月、2学期：7月～11月 |
| | 語学条件 | IELTS 6.0以上 | | | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 語学条件をクリアしていない場合は、キャンパス内にある語学学校(有料)を経て交換留学への切り替えも可能。毎年10名以上の佐大生が5週間の英語研修に参加しています。メルボルンはアートとコーヒーの街で魅力的です。 | | | | |
| 中国 | 北京工業大学 Beijing University of Technology | | | http://www.bjut.edu.cn/ | | |
| | 所在地 | 北京市 | 指導言語 | 中国語・英語 | 学年暦 | 1学期：8月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 語学条件 | ①中国語で授業を専門の履修：HSK5級以上 ②中国語学習：中国語検定3級またはHSK2級以上 ③英語による工学系コース：TOEFL ITP480以上 ④英語による中国ビジネス・文化コース：TOEFL ITP480以上 | | | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 中国語の授業に定評があり多くの佐賀大学生が留学しました。1年を通して国際交流イベントが開催され、世界の様々な文化に触れられます。毎月、天安門、紫禁城、万里の長城などの歴史遺産を視察するスタディツアーが留学生に提供され、無料で参加できます。 | | | | |
| 中国 | 浙江理工大学 Zhejiang Sci-Tech University | | | http://www.zstu.edu.cn | | |
| | 所在地 | 杭州市 | 指導言語 | 中国語・英語 | 学年暦 | 1学期：2月～7月、2学期：9月～12月 |
| | 語学条件 | ①中国語コース：中国語検定3級またはHSK2級以上 ②英語による専門科目履修プログラム：TOEFL ITP 480以上 | | | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 世界遺産西湖で知られる歴史と伝統の街、杭州市の協定校です。10を超える大学が隣り合わせに存在している大学街に立地しています。電子決済、シェアリングエコノミーなど日本よりも早く導入され、柔軟性の高い社会を体験してみましよう。 | | | | |
| 中国 | 浙江科技学院 Zhejiang U of Science and Technology | | | http://www.zust.edu.cn/ | | |
| | 所在地 | 杭州市 | 指導言語 | 中国語・英語 | 学年暦 | 1学期：2月下旬～7月初旬、2学期：9月～1月 |
| | 語学条件 | ①中国語コース：中国語検定3級またはHSK2級以上 ②英語による専門科目履修プログラム：TOEFL ITP 480以上 | | | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 多くの学部・研究科が英語で学位を付与するコースを備えており、英語による授業が豊富。単位互換可能な科目を取りやすいです。とりわけ工学系と経済・ビジネスを専攻する学生にとっては選択肢が多い大学です。ドイツ人留学生が多く、日本人留学生はごくわずか。 | | | | |
| 中国 | 華東師範大学 East China Normal University | | | http://www.ecnu.edu.cn/ | | |
| | 所在地 | 上海市 | 指導言語 | 中国語・英語 | 学年暦 | 1学期：2月末～6月、2学期：9月～12月 |
| | 語学条件 | 中国語による授業履修：HSK4級 英語による授業履修：TOEFL ITP 480 | | | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 上海にある名門大学で、中国人なら誰もが憧れる大学です。中国の哲学、歴史、経済、文化などまこと英語で学習するコースあり。中国語を学ぶコースには大学生だけではなく一般の社会人も参加しており、他の協定校よりも日本人比率が高いプログラムです。 | | | | |

*リスト以外の学術協定校への留学を希望する場合は、応募前に国際課に問い合わせてください

| | | | | |
|----|--|--|--|--------|
| 台湾 | 国立中興大学 National Chung Hsing University | | http://www.nchu.edu.tw/index1.php | |
| | 所在地 | 台中市 | 指導言語 | 英語 |
| | 語学条件 | 1学期:9月~1月、2学期:2月~6月 | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 昨年設立100周年を迎えた台中市にある国立の総合大学です。農業大学を礎としており、佐賀大学の農学部とは長い交流実績があります。近年は農学部生が英語で専門の授業を履修しています。「ラボエクステンジ」という制度があり、理系大学院生は研究留学ができます。 | | |
| 台湾 | 国立政治大学 National Chengchi University | | http://www.nccu.edu.tw/ | |
| | 所在地 | 台北市 | 指導言語 | 中国語・英語 |
| | 語学条件 | TOEIC 700点またはTOEFL-ITP 500以上 | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 1927年に設立された台湾の名門大学で、初代の学長は蔣介石です。人文社会系の総合大学で、世界のトップスクールの一つ。中国語を学びながら、英語で専門科目を履修することが可能です。世界の様々な国の学生と授業に参加し発信力を鍛えましょう。 | | |
| 台湾 | 国立台北大学 National Taipei University | | http://english.ntpu.edu.tw/bin/home.php | |
| | 所在地 | 新北市 | 指導言語 | 中国語・英語 |
| | 語学条件 | TOEFL-ITP 480以上 | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 上記の国立中興大学から商学部が独立し、2000年に台北大学となりました。台北市内から1時間弱の新北市に広いキャンパスを持つ。ビジネス・経済分野は英語による授業も多数で、様々な留学生とプレゼンやグループワークをします。中国語学習は十分にできません。 | | |
| 台湾 | 国立東華大学 National Dong Hwa University | | https://www.ndhu.edu.tw/bin/home.php?Lang=en | |
| | 所在地 | 花蓮市 | 指導言語 | 中国語・英語 |
| | 語学条件 | 中国語による授業履修: HSK 4級 英語で授業を履修: TOEFL ITP 480以上 | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 毎年春休みに佐賀大生が1ヶ月在籍し、英語で様々な授業に参加しています。東海岸の花蓮市に台湾で最も広大なキャンパスを持ちます。国際色豊かで教育の質が高く、佐賀大生からの評価がとても高い大学です。暖かい人々と特色ある文化に囲まれて学生生活が送れます。 | | |
| 韓国 | 国民大学校 Kookmin University | | http://www.kookmin.ac.kr/home.php | |
| | 所在地 | ソウル | 指導言語 | 韓国語・英語 |
| | 語学条件 | 韓国語学習: 韓国語検定3級以上 英語による授業履修: TOEFL-ITP480以上 | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 美術やデザインの分野が韓国国内ではトップクラスです。英語による授業も充実しており、韓国語を学びながら専門科目も履修できます。キャンパス内には近代的な建物が多く、北漢山国立公園に隣接しており、自然豊かな立地です。 | | |
| 韓国 | 釜慶大学校 Pukyong National University | | http://www.pknu.ac.kr/index.do | |
| | 所在地 | 釜山 | 指導言語 | 韓国語・英語 |
| | 語学条件 | 韓国語学習: 韓国語検定3級以上 英語による授業履修: TOEFL-ITP480以上 | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 釜山にある国立大学で韓国語の授業には定評があります。佐賀から最も近い海外の協定校で、サマープログラムに毎年参加しています。 | | |
| 韓国 | 大邱大学校 Daegu University | | https://jpn.daegu.ac.kr/ | |
| | 所在地 | 大邱 | 指導言語 | 韓国語・英語 |
| | 語学条件 | 韓国語学習: 韓国語検定3級以上 英語による授業履修/研究留学: TOEFL-ITP480以上 | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 韓国で最も広いキャンパスを持ち、敷地内に多数の食堂、売店などのほかに総合福祉館(プール、ゴルフ練習場、映画館など)がある。佐賀大学とは理工学部を中心に交流があり、過去2名の化学専攻の大学院生が研究留学をしました。 | | |
| 韓国 | 釜山大学校 Pusan National University | | http://english.pusan.ac.kr | |
| | 所在地 | 釜山 | 指導言語 | 韓国語・英語 |
| | 語学条件 | 韓国語学習: 韓国語検定3級以上 英語による授業履修: TOEFL-ITP480以上 | 学生寮 | あり |
| | 特色 | 現地の学生が1対1のパディとして生活立ち上げなどのお世話をしてくれる。英語で履修できる科目が多数ある。 | | |

主な派遣先大学&詳細一覧

| | | | | |
|--------|--|-----------------------------|------------------------------------|----------------------|
| タイ | タマサート大学 Thammasat University | | http://www.tu.ac.th/en/ | |
| | 所在地 | バンコク | 指導言語 | 英語 |
| | 語学条件 | TOEFL ITP500以上 | 学年暦 | 1学期：8月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 学生寮 | なし(民間アパート) | 派遣人数 | 3名 |
| 特色 | 人文社会系で優れた教育研究を行っており、法学部門はタイ国内の権威とされる。英語による多彩な国際プログラムを持ち留学生が多い。民主主義と言論の自由を重んじる学風があり、その伝統を誇りに思うタマサート大生が多い。一緒に議論してみよう。 | | | |
| タイ | カセサート大学 Kasetsart University | | http://www.ku.ac.th/english | |
| | 所在地 | バンコク | 指導言語 | 英語 |
| | 語学条件 | TOEFL ITP 480以上 | 学年暦 | 1学期：8月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 学生寮 | あり | 派遣人数 | 3名 |
| 特色 | アートやデザインを専攻する学生を対象。製作活動にの一环として様々な国籍の学生や教員英語と活発に議論する機会に恵まれます。コンセプトやプロセスを重視し、作品の意味や価値を言葉で表現するトレーニングができます。 | | | |
| タイ | チェンマイ大学 Chiang Mai University | | http://www.cmu.ac.th/index_eng.php | |
| | 所在地 | チェンマイ | 指導言語 | 英語 |
| | 語学条件 | TOEFL ITP 550またはTOEIC 600以上 | 学年暦 | 1学期：8月～12月、2学期：1月～5月 |
| | 学生寮 | なし(民間アパート) | 派遣人数 | 3名 |
| 特色 | 古都チェンマイにある国立の総合大学で学生総数は約3万人。世界に通用する教育の提供を目標に掲げており、留学生の数も多い。教育の国際化が早く、多数の授業が英語で開講されている。タイ語を学習しながら人文社会系、理系の授業に参加することが可能です。 | | | |
| インドネシア | ガジャマダ大学 Universitas Gadjah Mada | | http://www.ugm.ac.id/en/post/index | |
| | 所在地 | ジョグジャカルタ | 指導言語 | 英語 |
| | 語学条件 | TOEFL ITP 500以上 | 学年暦 | 1学期：2月～6月、2学期：9月～12月 |
| | 学生寮 | あり | 派遣人数 | 3名 |
| 特色 | 世界各地から留学生が集まる学園都市であるジョグジャカルタのほぼ中心にある、インドネシア最古の国立大学。インドネシア語を集中的に学びたい人向けのプログラムがあります。英語による授業も理系分野を中心に開講されています。 | | | |
| スリランカ | ペラデニア大学 University of Peradeniya | | http://www.pdn.ac.lk/ | |
| | 所在地 | キャンディ | 指導言語 | 英語 |
| | 語学条件 | TOEFL ITP 480以上 | 学年暦 | 学部による |
| | 学生寮 | あり | 派遣人数 | 3名 |
| 特色 | スリランカ最古で国内トップクラスの総合大学。佐賀大学で学位を取得した先輩が多く教鞭をとっているため安心して留学できます。全ての授業が英語で行われており、これまで開発経済学や農学を学ぶ多くの佐賀大生が留学しました。 | | | |



留学フェア

佐賀大学国際交流推進センターのHPやFacebookページ、ブログを活用しよう



佐賀大学国際交流推進センター HP

国際交流推進センターの概要や、留学に関する情報を掲載しています。短期海外研修や交換留学のオンライン申請もこちらから受け付けています。

<http://www.irdc.saga-u.ac.jp/ja/>



佐賀大学国際交流推進センター Facebook

留学情報のほか、留学生と交流できるイベントや語学能力試験、奨学金の情報などを配信しています。

「いいね」を押して最新情報を入手しよう！

<https://www.facebook.com/sadai.kokusai>



ツナガル留学日記

世界各国で学ぶ佐賀大学生が現地から留学生活を紹介しています。留学準備についてのアドバイスもたくさん紹介されていますので、留学を考えている方は要チェックです！

<http://sagau-stab.blogspot.jp/>



2020 YEAR-ROUND SCHEDULE

| | | |
|----|---------------------------------------|----------|
| 4 | 留学生の日本語授業ボランティア募集 | 担当教員へメール |
| 4 | TOEFL ITP® テスト | 佐大生協 |
| 4 | 海外留学・国際交流フェア2020 | 参加自由 |
| 4 | TOEIC IP テスト (SUSAP 2020 Summer応募に必要) | 佐大生協 |
| 5 | SUSAP 2020 Summer募集開始・説明会 | 説明会参加自由 |
| 5 | SUSAP 2020 Summer申し込み締め切り | 推進センターHP |
| 5 | 留学アドバイジング週間 | 自由相談 |
| 7 | TOEFL ITP® テスト | 佐大生協 |
| 7 | 派遣交換留学令和2年度第2期(2021年2月・3月出発) 募集開始 | 推進センターHP |
| 7 | 派遣交換留学令和2年度第2期募集説明会 | 参加自由 |
| 7 | 第1回海外留学成果報告会 | 参加自由 |
| 8 | TOEIC IPテスト(SUSAP 2021 Spring応募に必要) | 佐大生協 |
| 8 | SUSAP 2020 Summer実施(9月末まで) | |
| 10 | TOEIC IPテスト(SUSAP 2021 Spring応募に必要) | 佐大生協 |
| 10 | TOEFL ITP® テスト | 佐大生協 |
| 10 | SUSAP 2021 Spring募集開始・説明会 | 説明会参加自由 |
| 11 | 第2回海外留学成果報告会 | 参加自由 |
| 12 | 派遣交換留学令和3年度第1期(2021年8月・9月出発) 募集開始 | 推進センターHP |
| 12 | 派遣交換留学令和3年度第1期説明会 | 参加自由 |
| 12 | TOEFL ITP® テスト | 佐大生協 |
| 12 | 留学アドバイジング週間 | 相談自由 |
| 2 | SUSAP 2021 Spring実施(3月末まで) | |
| 2 | TOEFL ITP® テスト | 佐大生協 |
| 3 | TOEFL ITP® テスト | 佐大生協 |



Big Coffee Hour



新入留学生とOne Day Trip



カルチュラルナイト



新入留学生との佐賀街歩き



佐賀大学

佐賀大学国際交流推進センター

TEL:0952-28-8169

Email: ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp

HP: <http://www.irdc.saga-u.ac.jp/>



Find us on
Facebook

国際交流推進センターのページ開設中!!



を押して
最新情報を入手しよう!!